

令和6年度

滝川市教育



滝川市教育委員会

滝川市民憲章

わたしたちは、母なる石狩川と空知川の寄りあう自然に恵まれた誇りある滝川の市民です。

わたしたちは、風雪のきびしさに耐えて生きぬいた開拓者の精神をしっかりと受けつぎ、たくましい、知性ゆたかな市民として明るい生き生きとした滝川市の発展につとめます。

- からだをきたえ、しごとにはげみ、明るい家庭をつくります。
- きまりを守り、力をあわせて、住みよい社会をつくります。
- 教育をたいせつにし、文化をひろめ、豊かな郷土をつくります。
- 緑を育て、環境をよくし、美しいまちをつくります。
- 未来に目をひらき、産業をおこし、新しい都市をつくります。

(昭和45年9月12日制定)



市の花

(昭和43年2月23日制定)
ツツジ



(昭和63年1月1日制定)
コスモス



市の木

(昭和43年2月23日制定)
プラタナス

I. 基本方針

令和6年度の教育行政の基本的な考えを申し上げます。

情報技術の革新やグローバル化の進展などにより、人々の価値観や生活様式、ワークスタイルが大きく変わる中、社会環境が急速に変化し、将来の予測が困難な時代となっています。

このような時代に、子どもたちがさまざまな困難を乗り越えよりよく生きていくためには、一人ひとりが自分の可能性を広げ、他者を尊重し互いに協働しながら社会の変化に向き合っていくことが必要であり、学校教育においては、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手として成長することができるよう、その資質・能力を育成してまいります。

また、地域においては、市民一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう自らの個性や能力を生かしながら社会活動に参画し、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、多様性を尊重しながら、生涯学習を通じて誰もが生き生きと学び続けることができる環境づくりを進めてまいります。

以上の基本方針のもと、滝川市教育大綱の基本理念である「未来を切り拓く自立型人材の育成」と「誰もが学び続けることができる共生社会の実現」を目指し、学校関係者や市民の皆様と連携・協働し、豊かな教育の実現を目指して、教育行政を推進してまいります。

II. 重点施策

(I) 学校教育について

確かな学力と、幅広い知識・教養、職業実践力を育みます

学力向上については、児童生徒一人ひとりの理解度に応じて問題を出題できる「AI（人工知能）ドリル」を小・中学校全校に導入し、個別最適な学びをより一層充実させ、基礎学力の定着と家庭学習の習慣化に取り組んでまいります。

また、効果的な少人数指導、習熟度別指導を推進するため、学びサポーターをはじめとする各種スタッフを各校に配置するとともに、「ICT活用実践事例集」や「小・中学校9年間を通したICTスキル体系表」に基づいた1人1台端末の効果的な活用により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進します。

ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進するため、北海道教育委員会の「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」を滝川第三小学校と西小学校が主導し、他校への訪問や支援を行い、授業改善を市内全体に拡げてまいります。

外国語を使ったコミュニケーション能力の向上と異文化を理解する力を育成するため、外国語指導助手(ALT)による授業支援や、長期休業期間を利用したオンライン

個別学習「A L T英会話学習」を実施し、ネイティブの外国語に触れる機会を充実させるほか、「英検E S G」や「英検I B A」を活用し、児童生徒の読む・書く・聞く・話すのバランスの取れた英語力の育成を図ります。

キャリア教育については、「総合的な学習の時間」において自ら課題を見つけ解決していく探究的な学習を取り入れ、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育むとともに、実社会での職場体験活動を通じて、勤労観・職業観の醸成に努めます。

豊かな心と健やかな体を育み、多様な教育ニーズに対応します

いじめの防止対策については、S N Sやメッセージアプリ上での「ネットいじめ」が全国的に増加していることから、各学校のいじめ対策組織を十分に機能させ、いじめ防止専門委員会やいじめ問題対策連絡協議会の専門的な知見も取り入れ、未然防止に取り組むほか、いじめ見逃しゼロを徹底し、早期発見・早期対応に努めます。

また、子どもたちがいじめの問題を主体的に考えるための「絆づくり成果交流会」を開催し、児童会・生徒会によるいじめ撲滅に向けた活動を共有し合い、「いじめを絶対に許さない学校づくり」の取組みを支援するほか、改定した「滝川市子どものいじめ防止基本方針」の趣旨を踏まえ、実効性のあるいじめ防止等の取組みを進めてまいります。

不登校児童生徒は年々増加しており、その要因も複雑化していることから、児童生徒個々の学校生活に対する満足感や充足感を把握し、その結果に応じた支援内容の見直しを行うとともに、中1ギャップを防ぐ小・中連携の取組みを支援するなど、不登校の未然防止に努めます。

不登校児童生徒への支援については、適応指導教室での学習指導や体験活動により、自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指すほか、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと学校が連携した取組みを行います。

また、対面でのコミュニケーションを苦手とする不登校児童生徒の学びの場を確保するため、オンライン型フリースクールなどさまざまな手法を検討してまいります。

道德教育の推進については、「先生が中心となり進めていく授業」から「考え、議論する道德」への質的転換を図るため、外部講師による教職員を対象とした研修会を開催し、子どもたちの豊かな情操や道德的实践力を育ててまいります。

体力向上対策については、体育専科エキスパート教諭を配置し、専門性を活かした指導のほか、スポーツへの興味関心や運動意欲を高める取組みを実践し、体力向上を図ります。また、運動に親しみ、楽しく体力づくりを行う北海道教育委員会の「どさん子元気アップチャレンジ」事業を活用し、運動機会の創出に努めます。

特別支援教育については、引き続き教育支援委員会議による教育相談により、一人ひとりの障がいの状況に応じたきめ細かなニーズを把握しながら、個別の「指導計画」、「教育支援計画」を作成し、福祉部局と連携して幼児期から一貫した支援を行います。

育ちと学びを支える教育環境の整備を進めます

コミュニティ・スクールについては、学校運営協議会ごとの活動をサポートするほ

か、知識や技能を有する地域ボランティアを農業体験や食育授業、学習支援事業に派遣するなど、地域とともにある学校づくりを推進します。

部活動の地域移行については、児童生徒、保護者や教職員の意見等を踏まえながら、将来にわたりスポーツや文化活動を継続できる環境整備を目指し、各学校や校長会、市PTA連合会、学校運営協議会、スポーツ・文化団体等の関係団体で構成される協議会を設置し、将来的な部活動の在り方について検討を進めます。

教職員の働き方改革については、北海道の「学校における働き方改革 北海道アクション・プラン」の改定に伴い、本市においても「業務改善推進プラン」を改定し、併せて教職員が使用する校務用パソコンの更新を行い、無線LANを活用して効率的に校務を行える環境を整えます。

小・中学校の適正配置については、「第2期 滝川市小・中学校適正配置計画」に基づき、各校区の保護者や地域住民との意見交換を進めてまいります。また、「滝川市公共施設個別施設計画」において改築が予定されている滝川第一小学校については、よりよい教育環境の整備と教育の質の充実を目指し、今後の児童数の減少を見据えた規模や、学校に求められる機能・役割等を検討し、基本構想の策定に着手します。

小・中学校の施設改修については、引き続き、施設の安全点検を定期的に行うとともに、主な大規模改修として、滝川第二小学校放送設備改修工事、江部乙小学校及び江陵中学校の体育館屋根改修工事、明苑中学校照明器具のLED化工事を実施します。

滝川西高等学校の教育の充実を進めます

英語教育・国際理解教育については、グローバル社会に適應できる人材を育成するため、引き続き2名の外国語指導助手（ALT）を配置し、日常英会話をはじめとしたコミュニケーション能力の向上を図ります。また、異文化を知り、国際感覚を身につけるため、姉妹校であるアメリカ・ロングメドール高校や交流提携校であるスウェーデン・ヴィトフェルスカ高校との短期留学事業を実施します。

キャリア教育については、企業と連携した取組みとしてインターンシップによる職業体験を実施するほか、生徒が主体的に課題を選択し、情報収集や研究活動で探究を深める「課題研究」を通して、将来に役立つスキルや思考力を養い、生徒が希望する進路の実現を図ってまいります。

（Ⅱ）社会教育について

青少年の健全育成事業を充実させます

次代を担う子どもたちの健全な育成を推進するため、青少年育成会事業について、地域の関係者と連携を図りながら取組みを支援します。

情報モラル教育については、子どもたちのスマートフォン所持率の増加と低年齢化が進み、インターネットやSNSを通じたトラブルが多様化、深刻化していることから、乳幼児検診時に保護者向けリーフレットを配付するほか、学校をはじめさまざまな場面で外部講師による学習機会を提供するなど、年齢や環境に合わせた啓発活動を継続的に取り組みます。

生涯学び、豊かな心を育む社会教育環境を充実させます

文化芸術活動の振興については、当面の活動拠点である滝川市民交流プラザの維持や「空知管内公共ホール使用料等補助金」を継続し、市民の自主的な活動を支援します。

また、子どもたちの豊かな心や感性を育むため、プロの音楽演奏等を鑑賞・体験するアウトリーチ事業を実施するほか、新型コロナウイルスの影響で休止が続いていた「風がみつけた街」たきかわ音楽祭の事業再開に向けて実行委員会活動を支援します。

美術自然史館については、収蔵する美術作品や市民の作品等を鑑賞できる機会を提供するほか、新たに地域の活動を紹介する企画展示を行うなど事業の充実を図ります。

また、特別展「のぞいてみよう！模型の世界」では、鉄道模型や建築模型、プラモデルなど身の回りにあるさまざまな「模型」を見て楽しむだけでなく、来場者によるジオラマ製作や各種ワークショップによるものづくり体験を通し、作る喜びとともに豊かな心と創造力を育みます。

こども科学館については、ものづくり体験や科学実験を行う「月イチリカ室」のほか、学芸員らによる出前講座「おでかけミュージアム」を継続的に実施し、大人や子どもたちの好奇心や探究心を育むための環境づくりを推進します。

図書館については、「第3次滝川市子どもの読書活動推進計画」の始期であることから、重点的な取組みである読書の習慣化や学ぶ力を育むため、各年代へ向けておすすめの本を紹介し動機づけを図るほか、「たきかわっ子ワクワクまなびプログラム」を実施し、子どもたちの探究心や主体性を引き出します。また、ふるさとのすばらしさや大切さを再認識し、まちの歴史を伝承するため、郷土資料や地域人材を活用した郷土学習を推進します。

スポーツを通じた豊かな心身の育成を図ります

スポーツの振興については、障がいの有無や性別、年齢を超えて、すべての人がスポーツや文化を共有できるアダプテッドスポーツの出前講座を継続実施し、共生社会に対する意識の向上を図ります。

民間事業者により再開した温水プールについては、学校の水泳授業や市民の健康増進施設として安定した運営が維持されるよう、事業者との連携強化に努めます。

また、施設設備の改修が必要な滝の川市民プール「水夢」については、公共施設個別施設計画の方針を受けて休止し、温水プールを活用した検証事業を実施します。

教育委員会といたしましては、将来を担う子どもたちが、郷土の歴史と文化に誇りと愛着をもち、ふるさと滝川の未来を拓く「たきかわっ子」としてたくましく成長するとともに、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツや文化芸術活動を通して生きがいを持ち、心豊かに暮らすことができるよう各種教育施策の充実に努めてまいります。

以上、令和6年度の教育行政執行方針を申し上げました。

市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

滝川市教育推進計画（第3期 令和5年度～令和9年度）概要版 ～教育のまち滝川 未来を拓く「たきかわっ子」の育成～



I 我が国の教育をめぐる現状と課題

- ・2040年以降の社会を見据え、社会の課題や変化に対応した人材の育成と自ら社会を創り出していく視点が必要
- ・幸福や生きがい捉える「ウェルビーイング」の考え方が重視され、個々の幸せや生きがいの実現に向けた教育の実践が求められる

II 滝川市における現状と課題

(1) 学校教育

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ①GIGAスクール構想の進展 | ⑦教職員の働き方改革 |
| ②児童生徒の学力向上 | ⑧部活動の地域移行 |
| ③児童生徒の体力向上 | ⑨学校施設の老朽化への対応 |
| ④特別支援教育の充実 | ⑩児童生徒数減少に伴う小・中学校の適正配置 |
| ⑤不登校児童生徒の増加 | ⑪生徒数減少時代における魅力ある高等学校づくり |
| ⑥いじめ防止対策の充実 | ⑫キャリア教育の充実 |

(2) 社会教育

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ①人生100年時代を見据えた
生涯学習活動の推進 | ③ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 |
| ②生涯を通じた文化芸術活動の推進 | ④持続可能な社会教育施設の運営 |
| | ⑤生涯学習及び情報拠点としての図書館の充実 |



III 基本理念

『未来を切り拓く自立型人材の育成』
…自己決定ができる人材の育成

『誰もが学び続けることができる共生社会の実現』
…市民が学び続けることができる共生社会

IV 重点方針

1. 確かな学力の育成
2. 豊かな心の育成
3. 健やかな体の育成
4. 生涯学習の推進
5. 教育DXの推進

V 基本目標と主な施策

1 確かな学力の育成 幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成

- ①授業改善 ②ICTを効果的に活用することによる学びの質の向上 ③外国語教育の充実
- ④家庭学習の定着と充実 ⑤キャリア教育の推進 ⑥学校サポート事業の推進
- ⑦教職員研修の充実 ⑧幼・保・小連携の充実

2 豊かな心の育成

- ①道徳教育の充実 ②いじめ防止対策の充実 ③体験活動の充実 ④読書活動の充実
- ⑤地域の歴史や文化等に関する教育の推進 ⑥文化芸術等による子どもの豊かな心の育成
- ⑦情報モラル教育の推進 ⑧子どもの権利利益の擁護

3 健やかな体の育成 スポーツを通じた豊かな心身の育成

- ①学校保健活動の充実 ②学校給食、食育活動の充実
- ③学校や地域における子どものスポーツ機会の充実

4 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂

- ①特別支援教育の推進 ②不登校児童生徒へ対応
- ③学校教育における福祉関係機関等との連携強化
- ④地域の教育資源の活用 ⑤ヤングケアラー等の対応

5 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成

- ①主権者教育・消費者教育等の推進 ②持続可能な開発のための教育(ESD)・環境教育等の推進
- ③男女共同参画の推進 ④子どもの意見表明

6 グローバル社会における人材育成

- ①英語を中心とした外国語教育の強化
- ②滝川西高等学校における外国語能力の育成

7 高等学校の教育課程における人材の育成

- ①「主体的・対話的で、深い学び」の授業の充実 ②生活指導の充実
- ③進路指導の充実 ④健康・安全指導の充実

- ①STEAM教育の実践 ②滝川西高等学校における専門教育の充実
- ③社会人が働きながら学べる学習環境の整備 ④経済的な支援の活用促進

- ①生涯学習活動の推進 ②生涯学習活動を支援する読書環境の整備
- ③國學院大學北海道短期大学部との連携強化

- ①家庭の教育力の向上 ②コミュニティ・スクール事業の推進 ③スマートフォン等への対応
- ④子どもの読書活動の充実 ⑤部活動の地域移行

- ①情報活用能力の育成 ②各教科等の指導におけるICT活用の促進
- ③校務のICT化による教職員の業務負担軽減及び教育の質の向上
- ④生涯学習分野のデジタル活用の推進

- ①教職員の指導体制・指導環境の整備 ②教職員の働き方改革の推進
- ③これからの学校教育を担う教師の資質能力の向上

- ①企業との連携による学びの推進 ②地域文化活動の振興 ③スポーツ活動の推進
- ④部活動の地域移行 ⑤情報拠点としての図書館の充実
- ⑥いじめ対応における警察や関係機関との連携強化

- ①安全・安心で質の高い学校施設等の整備の推進
- ②持続可能な社会教育施設の整備・運営の検討

- ①学校安全の推進 ②学校施設老朽化への対応

～ も く じ ～

○滝川市民憲章

○令和6年度教育行政執行方針

○滝川市教育推進計画（第3期 令和5年度～令和9年度）概要版

I 教育行財政

1	教育委員会	1
2	歴代教育長及び教育委員	1
3	教育委員会事務局組織等機構図	3
4	滝川市の教育の歩み	4
5	予算の概要	10

II 学校教育

1	学校教育の充実	11
2	幼児教育	13
3	義務教育	14
	小学校	14
	中学校	17
	中学生の進路状況	19
	小・中学校の児童生徒数及び学級数	19
	児童生徒数の推移	20
	通級指導教室事業	20
	適応指導教室事業	20
	特別な支援を要する児童生徒の就学状況	21
	学校給食	22
4	高等学校教育	23
5	専修学校・大学教育	24

III 社会教育

1	社会教育	25
	家庭教育の支援	25
	青少年の健全育成	25
	生涯学習活動の推進	26
	社会教育施設の概要	26
2	芸術文化	27
	市民による文化芸術活動の支援	27
	優れた芸術鑑賞機会の提供	27
	文化施設等の整備	27
	陶芸センターの振興	28

文化施設の概要	28
3 スポーツ	29
体育指導及び振興	29
体育施設の整備	29
スポーツ施設の概要	30
4 図書館	33
地域の情報・生涯学習拠点事業	33
連携事業	34
こどもの読書普及事業	35
なかそらち図書館ネットワーク推進事業	37
図書館の概要	37
5 博物館	38
美術自然史館事業	38
こども科学館事業	39
郷土館事業	39
文化財保護・活用事業	40
博物館の概要	40

Ⅳ その他

1 空知教育センター組合	41
2 一般財団法人 滝川生涯学習振興会	42
3 滝川市文化連盟	43
4 一般財団法人 滝川市スポーツ協会	44

Ⅴ 資料編

1 各種審議会等	45
滝川市いじめ防止専門委員会	45
滝川市いじめ問題対策連絡協議会	45
滝川市教育支援委員会議	46
滝川市社会教育委員会議	46
滝川市文化財保護審議会	47
滝川市スポーツ推進委員	47
2 教育関係団体等一覧	48
3 芸術文化団体一覧	49
4 スポーツ団体一覧	50
5 滝川市の文化財	51

○健康都市宣言

○環境都市宣言

○平和都市宣言

I 教育行財政

1 教育委員会

職 名	氏 名	就 任 日	任 期 等
教 育 長	田中 嘉樹	令和3年6月27日	令和6年6月27日～令和9年6月26日 2期目
職務代理者	春田 淳一	令和5年6月27日	令和5年6月27日～令和9年6月26日 1期目
教育委員	木曾 旬映	令和3年5月14日	令和3年5月14日～令和7年5月13日 1期目
教育委員	種田 貴志子	令和4年5月28日	令和4年5月28日～令和8年5月27日 1期目
教育委員	上野 恭敬	令和6年5月24日	令和6年5月24日～令和10年5月23日 1期目

2 歴代教育長及び教育委員 (昭和46年4月1日合併以降)

氏 名	在 任 期 間	備 考	(委員長在任期間)
中川 正	昭和46年4月1日～昭和47年5月23日	委員長	昭和46年4月1日～昭和47年5月23日
堀田 武司	昭和46年4月1日～昭和50年5月12日	委員長	昭和47年5月29日～昭和50年5月12日
岡本 義雄	昭和46年4月1日～昭和50年5月12日	教育長	
畑原 喜之助	昭和46年4月1日～昭和48年5月13日		
田中 正雄	昭和46年4月1日～昭和54年8月26日		
渡邊 恭久	昭和47年5月24日～昭和63年5月23日	委員長	昭和62年5月13日～昭和63年5月12日
山本 義郎	昭和48年5月14日～昭和52年5月13日		
猪口 英之助	昭和50年5月13日～昭和58年5月12日	委員長	昭和50年5月13日～昭和58年5月12日
綱淵 正幸	昭和50年5月13日～昭和62年5月12日	教育長	
三栗 自然	昭和52年5月14日～平成5年5月13日		
千葉 武幸	昭和54年9月14日～昭和58年1月19日		
山口 貞明	昭和58年1月20日～平成2年5月12日		
樋口 昭二	昭和58年5月13日～平成11年5月12日	委員長	昭和58年5月13日～昭和62年5月12日 昭和63年5月13日～平成11年5月12日
本間 茂	昭和62年5月13日～平成11年5月12日	教育長	
高野 トシ	昭和63年5月24日～平成12年5月23日	委員長	平成11年5月28日～平成12年5月23日
小出 孝	平成2年5月28日～平成14年5月27日	委員長	平成12年5月24日～平成14年5月23日
木村 耀子	平成5年5月14日～平成17年5月13日		
安西 輝恭	平成11年5月13日～平成18年10月14日	教育長	

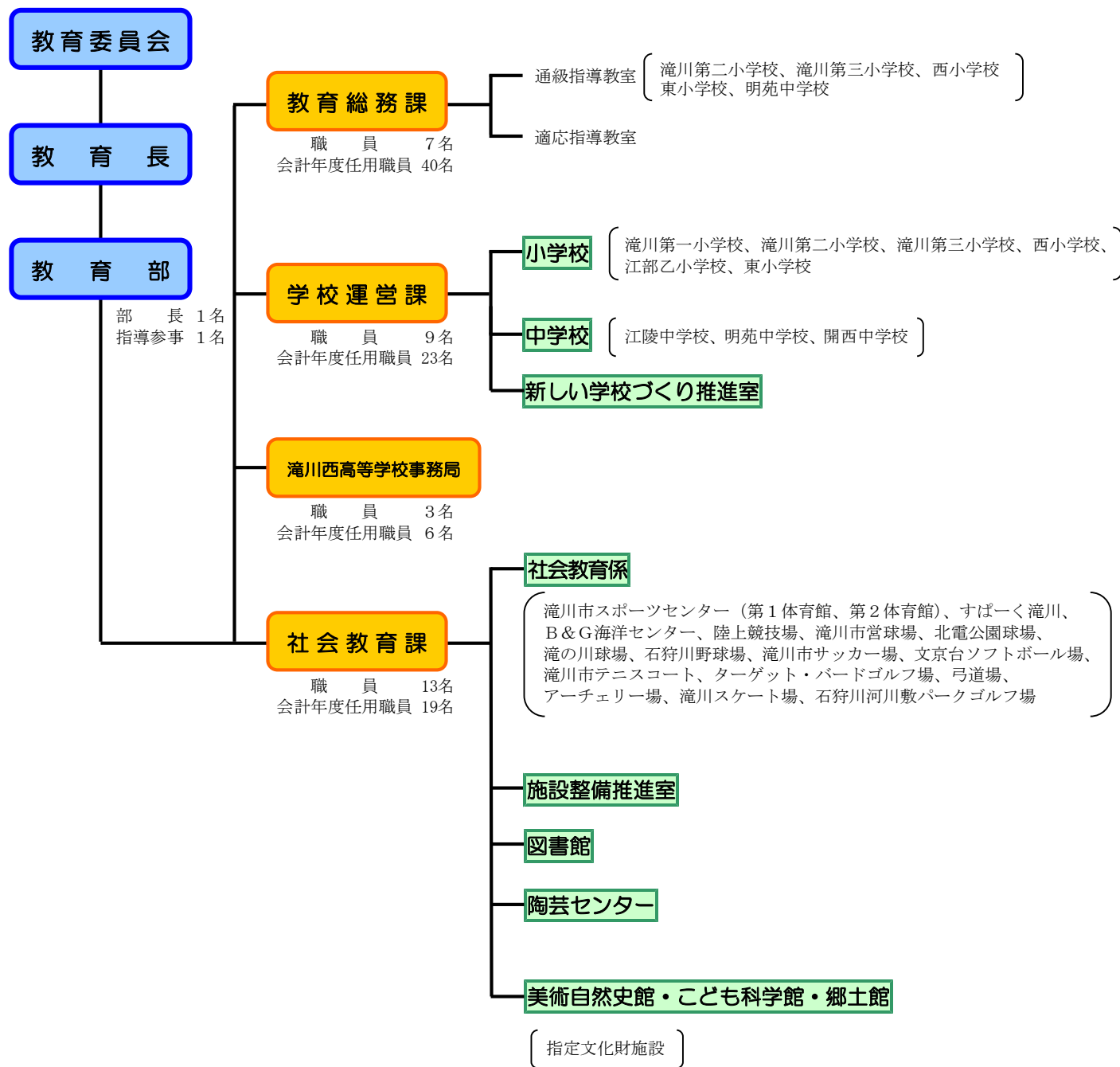
氏 名	在 任 期 間	備 考	(委員長在任期間)
了輪 隆	平成11年 5 月13日～平成18年10月16日	委員長	平成14年 5 月28日～平成18年10月16日
上田 英二	平成18年12月20日～平成19年 5 月12日		
高谷 富士雄	平成14年 5 月28日～平成19年 9 月30日		
中山 公子	平成12年 5 月24日～平成20年 5 月23日	委員長	平成18年12月21日～平成20年 5 月23日
篠島 恵里子	平成17年 5 月14日～平成25年 5 月13日		
鷲尾 昌法	平成19年10月 1 日～平成26年 5 月27日		
若松 重義	平成19年 6 月27日～平成27年 6 月26日	委員長	平成20年 5 月26日～平成27年 6 月26日
小田 真人	平成19年 6 月27日～平成27年 6 月26日	教育長	
野地 和英	平成20年 5 月24日～平成28年 5 月23日		
朝日 幸世	平成25年 5 月14日～令和 3 年 5 月13日		
山崎 猛	平成27年 6 月27日～令和 3 年 6 月26日	教育長	
芳村 敦子	平成26年 5 月28日～令和 4 年 5 月27日		
田代 雄一	平成27年 6 月27日～令和 5 年 6 月26日		
蜂矢 忠昭	平成28年 5 月24日～令和 6 年 5 月23日		

※平成26年、地方教育行政法の改正により、教育委員長と教育長を一本化した新教育長が置かれた。

3

教育委員会事務局組織等機構図

(令和6年5月1日現在)



4

滝川市の教育の歩み

年 月	で き ご と
明治 23 年 1 月	北海道庁令第 1 号をもって滝川村設置 滝川村戸長役場が開庁
12 月	屯田兵村に私立南・北小学校開校
25 年 11 月	私立南・北小学校を統合し、私立滝川小学校開校（滝川第二小前身）
26 年 11 月	公立空知尋常小学校開校（滝川第一小前身）
27 年 10 月	公立滝川北尋常高等小学校開校（北辰小前身）
28 年 1 月	私立滝川小学校を公立滝川尋常高等小学校に移管
29 年 12 月	公立滝川北尋常高等小学校を公立北辰尋常高等小学校と改称
39 年 4 月	滝川村に二級町村制を施行され、初代村長が任命
5 月	第 1 回村会議員選挙
40 年 4 月	滝川尋常高等小学校幌倉特別教授所設置（東栄小前身）
41 年 5 月	空知尋常高等小学校分教場設置
6 月	幌倉特別教授所を滝川尋常高等小学校幌倉分教場と改称
42 年 4 月	滝川村より江部乙分村
12 月	空知尋常高等小学校を滝川第一尋常高等小学校と、滝川尋常高等小学校を滝川第二尋常高等小学校と、 幌倉分教場を滝川第二尋常小学校幌倉分教場とそれぞれ改称 滝川第一尋常高等小学校空知太分教場設置（滝川第三小前身）
43 年 11 月	滝川町制施行
大正 4 年 9 月	江部乙第二尋常小学校開校（東陽小前身）
7 年 4 月	滝川第一尋常高等小学校空知太分教場を独立させ滝川第三尋常小学校開校
9 年 4 月	庁立滝川中学校開校（滝川工業高校前身）
6 月	北辰尋常小学校熊之沢分教場開校
11 年 4 月	滝川第二尋常小学校幌倉分教場を独立させ、滝川第四尋常小学校開校
昭和 4 年 5 月	町立滝川高等女学校開校（滝川高校前身）
6 年 4 月	町立滝川高等女学校を庁立に移管
10 年 8 月	青年学校開校
14 年 4 月	青年学校義務制実施（昭和22年廃止）
15 年 10 月	開町50周年記念式挙行
16 年 4 月	町民学校令により各小学校を国民学校、熊之沢分教場を旭沢分教場と改称（旭沢小前身）
17 年 4 月	町立夜間中学校開校（庁立滝川中内）
21 年 4 月	江部乙村立北辰農業学校開校（滝川北高校前身）
22 年 5 月	学制改革により国民学校を小学校と中学校に分離 第一中学校（第一小内）、第二中学校（第三小内）、第一中学校分校（第二小内）、第二中学校分校（第四小内）、北辰中学校（北辰小内）、北辰中学校東陽分校（東陽小内）開校
23 年 1 月	第二中学校を第三中学校に校名変更 第一中学校二の坂分校を第二中学校（第二小内）、第二中学校幌倉分校を第四中学校（第四小内）とする
4 月	滝川第一小学校滝泉台分校開校（西小前身） 学制改革により庁立滝川中学校は道立滝川高等学校、庁立滝川高女は道立滝川女子高等学校、 町立中学校は道立滝川高等学校夜間課程、村立北辰農業学校は村立江部乙農業高等学校と改称
24 年 4 月	東陽中学校開校
8 月	町営滝川球場オープン
11 月	旭沢分教場を独立させ、旭沢小学校開校（昭和47年閉校）
25 年 4 月	道立滝川高等学校は道立滝川西高等学校、道立滝川女子高等学校は道立滝川東高等学校と改称
7 月	村立江部乙農業高等学校は村立江部乙高等学校と改称

年 月	で き ご と
昭和 26 年 4 月	第一中学校と第二中学校を併合して江陵中学校、第三中学校を明苑中学校、第四中学校を東栄中学校と改称
27 年 4 月	第四小学校を東栄小学校と改称 江部乙町制施行 空知教育研究所開設（江陵中学校内）
27 年 11 月	滝川町・江部乙町各教育委員会設置 道立滝川東高等学校幌倉分校独立
28 年 4 月	道立滝川東高等学校幌倉分校を北海道滝川東栄高等学校に改称（昭和41年閉校） 北辰小学校南・北分校開校
5 月	滝川幼稚園開園（願成寺内）
29 年 4 月	道立滝川東高等学校を滝川高等学校、道立滝川西高等学校を滝川工業高等学校と改称
31 年 4 月	滝川第一小学校滝泉台分教場を廃止し西小学校開校
32 年 4 月	町立江部乙高等学校を道に移管
33 年 7 月	滝川市制施行
34 年 4 月	今野学園滝川商業高等学校開校
37 年 4 月	開西中学校開校
7 月	中央児童センター開館
38 年 10 月	私立えべおつ幼稚園開園
43 年 2 月	滝川市の木「プラタナス」、花「ツツジ」を制定
4 月	空知教育研修センター組合設立
44 年 3 月	白樺幼稚園開園
4 月	北辰中学校と東陽中学校を統合し、江部乙中学校開校 滝川高等看護学院開設
45 年 9 月	市民憲章制定
46 年 4 月	滝川市、江部乙町合併による新市制施行 青年体育センターオープン
47 年 6 月	滝の川運動公園内に市営球場オープン
48 年 3 月	私立滝川商業高等学校閉校により市に移管
4 月	北海道滝川西高等学校開校
6 月	文化センター、図書館開館
49 年 8 月	図書館が巡回文庫（すずかけ号）開始
9 月	陸上競技場オープン
50 年 4 月	北辰小学校、北辰小学校南分校、北辰小学校北分校及び東陽小学校を統合し江部乙小学校開校
51 年 4 月	滝川第三小学校に言語治療教室開設
52 年 4 月	おおぞら幼稚園開園 滝川西高等学校が商業科6間口を普通科2間口、商業科4間口へ学科転換
6 月	郷土館開館
11 月	自然の家開館
53 年 4 月	江部乙高等学校を北海道滝川北高等学校と改称
6 月	陶芸センター開所
8 月	東小学校開校 朝日町児童館開館
54 年 3 月	滝川スポーツセンターオープン
4 月	北滝の川児童館開館
55 年 4 月	明苑中学校と東栄中学校の統合による明苑中学校開校
8 月	空知川にて海牛化石を発見し発掘
9 月	郷土館分館「華月館」開館
12 月	花月町児童館及び中央公民館花月分館開館
56 年 3 月	滝川工業高等学校定時制課程閉課
4 月	中央公民館・働く婦人の家（総合福祉センター内）開館
9 月	屯田兵屋復元完成
56 年 12 月	東地区公民館開館（現音楽公民館） 泉町児童館開館

年 月	で き ご と
昭和 57 年 4 月	栃木市との友好親善都市提携盟約 國學院女子短期大学開学 みずほ幼稚園開園 東滝川児童館開館
6 月	牧羊用サイロ移転復元
8 月	滝川滑空場オープン
11 月	教育委員会設置30周年並びに市立学校不燃化達成記念式挙行
12 月	学習等供用施設（中央児童センター）開館 西地区公民館・児童センター開館 空知太スキー場オープン
58 年 4 月	滝川西高等学校が普通科2間口増となる（4間口）
7 月	市制施行25周年記念式挙行 航空科学館開館
10 月	航空科学研修センター開館
11 月	北地区公民館・児童センター開館
59 年 3 月	タキカワカイギウ化石標本が北海道指定の天然記念物に決定
4 月	サイクリングターミナルオープン
9 月	空知川河川敷ゲートボール場オープン
10 月	大町児童館開館
11 月	中地区公民館・児童センター開館
60 年 4 月	滝川市生涯学習振興会発足
11 月	温水プールオープン
12 月	江部乙公民館・児童館開館
61 年 9 月	美術自然史館開館
11 月	緑地区公民館・児童館開館
62 年 12 月	東地区公民館・児童館開館
63 年 1 月	滝川市の花として「コスモス」を追加制定
7 月	市制施行30周年記念式挙行
8 月	第70回全国高等学校野球選手権大会に滝川西高等学校が初出場
平成 元 年 4 月	健康都市宣言
12 月	大町地区児童センター開館
2 年 4 月	西地区公民館分館開館
7 月	滝川市開基百年記念式挙行 沖縄県名護市との友好親善都市提携
9 月	川の科学館開館
12 月	本町地区公民館・児童センター開館
3 年 2 月	開基百年記念塔オープン
3 月	こども科学館開館
4 月	國學院女子短期大学から國學院短期大学に校名変更し、男女共学化
4 年 3 月	ゲートボール場（スパーク滝川）開館
5 年 4 月	黄金町児童館開館 滝川西高等学校が商業科4間口を会計ビジネス科2間口、情報ビジネス科2間口に学科転換 通級指導教室を滝川第三小学校に開設
7 月	航空動態博物館開館
8 月	アメリカ合衆国 マサチューセッツ州スプリングフィールド市との姉妹都市提携を調印
12 月	川の科学館を、（財）石狩川振興財団に移管 扇町児童館開館
6 年 3 月	第66回選抜高等学校野球大会に滝川西高等学校が推薦を受け出場
7 月	B&G海洋センターオープン
11 月	岩橋英遠氏が文化勲章を受章

年 月	で き ご と
平成 7 年 3 月	滝川西高等学校が商業科を学科転換により閉科
4 月	滝川西高等学校の普通科 1 間口減（3 間口）とした
7 月	適応指導教室を中央児童センターに開設
10 年 3 月	自然の家閉館 北滝の川児童館は統廃合により閉館 緑地区児童館は統廃合により閉館
8 月	第80回全国高等学校野球選手権記念大会に滝川西高等学校が出場
11 年 3 月	私立えべおつ幼稚園閉園
4 月	勤労青少年ホーム（体育センター）と働く婦人の家が、社会教育部所管となる
12 年 3 月	泉町児童館は統廃合により閉館 本町地区児童館は統廃合により閉館 北海道滝川北高等学校閉校
13 年 2 月	滝川西高等学校がアメリカ・マサチューセッツ州スプリングフィールド工科高等学校と姉妹校提携調印
3 月	旧北海道滝川北高等学校校舎等を北海道教育委員会より譲与
4 月	江部乙中学校は江部乙町1118番地 1 に移転（旧北海道滝川北高等学校校舎） 江部乙共同調理場開設
6 月	市立中学校にスクールカウンセラー配置
14 年 1 月	市立小中高等学校インターネット・イントラネット開通
15 年 1 月	環境都市宣言
6 月	滝の川市民プール水夢オープン 森のかがく活動センターオープン
12 月	滝川西高等学校がスプリングフィールド工科高校と短期留学生相互派遣事業を開始 （～平成17年13月）
16 年 1 月	滝川西高等学校が國學院短期大学と高大連携を調印
4 月	航空科学館その他航空関連施設を市長部局に移管
18 年 1 月	中央公民館花月分館閉館
3 月	空知教育研修センター組合を空知教育センター組合と改称
4 月	児童館を市長部局に移管
19 年 3 月	みずほ幼稚園閉園
4 月	市立小学校にスクールカウンセラー配置
7 月	市立小中高等学校に機械警備導入
10 月	滝川西高等学校がアメリカ・マサチューセッツ州ロングメドー高校と短期留学生相互派遣事業を開始
11 月	滝川市立小・中学校適正配置基本方針策定
20 年 4 月	市立小学校 3 学年35人学級実施
7 月	市制施行50年記念式挙行
10 月	アメリカ・マサチューセッツ州ロングメドー町教育委員会と滝川市、ロングメドー町教育交流促進 に関する覚書調印
21 年 4 月	滝川西高等学校にスクールカウンセラー配置 市立小学校 3、4 学年35人学級実施（学年数71人以上） 國學院短期大学から國學院大學北海道短期大学部へ校名変更
8 月	滝川西高等学校格技場棟の耐震改修工事完了
9 月	江部乙小学校、明苑中学校の耐震改修工事完了
22 年 2 月	滝川市小・中学校施設整備方針策定
3 月	おおぞら幼稚園閉園
4 月	市立小・中学校に学びサポーター配置
7 月	滝川開村120年記念式典挙行
11 月	滝川第一小学校、江部乙中学校の耐震改修工事完了 滝川市小・中学校適正配置計画策定
12 月	滝川市立開西中学校改築基本方針報告書策定
23 年 3 月	滝川市勤労青少年ホームを閉館 図書館の巡回文庫（プラタナス号）廃止

年 月	で き ご と
平成 23 年 4 月	通級指導教室「のびのび」を滝川第二小学校に開設 滝川市青年体育センター分館本町体育館開館 滝川市教育委員会が被災地の子供達に絵本を届けようプロジェクト実施
8 月	滝川市立滝川第三小学校改築検討市民会議報告書策定
11 月	新図書館市役所 2 階に移転開館
12 月	滝川市学校給食施設整備方針策定 市立小学校でフッ化物洗口開始
24 年 1 月	東小学校の耐震改修工事完了
2 月	國學院大學北海道短期大学部図書館と滝川市立図書館の相互協力に関する協定書調印
3 月	東栄小学校を東小学校に統合 滝川市教育推進計画（平成24年度～28年度）策定
3 月	滝川市学校給食施設整備計画策定 滝川市青年体育センター分館本町体育館を閉館
4 月	滝川市温水プールを閉館し、無償譲渡（9 月滝川スポーツクラブサンテオープン） 通級指導教室を明苑中学校に開設
8 月	滝川市教育支援センターオープン 空知教育センター、学校適応指導教室を滝川市教育支援センターに移転 外国語指導助手（A L T）を 5 名体制とし、中学校を本務校に配置替
25 年 3 月	北海道人造石油株式会社滝川工場関係資料が公益社団法人日本化学会より化学遺産として認定
4 月	地区公民館をくらし支援課に移管 市立小学校 3、4 学年35人学級完全実施 図書館が子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰受賞
5 月	文京台ソフトボール場（2 面）オープン（空知川ソフトボール場閉鎖）
7 月	森のかがく活動センターを閉館 江部乙市民プールを閉鎖
8 月	開西中学校校舎等改築大規模改修工事完了
11 月	開西中学校新校舎落成式挙行政
26 年 3 月	滝川市子どもの読書活動推進計画（平成26年度～30年度）策定 滝川市総合福祉センターを閉館
4 月	通級指導教室を西小学校に開設 滝川市子どものいじめの防止等に関する条例施行
27 年 3 月	滝川第三小学校校舎等改築工事完了
4 月	滝川市就学指導委員会議を滝川市教育支援委員会議に名称変更 滝川第三小学校共同調理場開設 学校給食費の公会計化
7 月	滝川西高等学校がアメリカ・マサチューセッツ州ロングメドー高等学校と姉妹校提携調印
8 月	滝川西高等学校に外国語指導助手（A L T）を 2 名配置
10 月	滝川第三小学校新校舎落成式挙行政
28 年 1 月	滝川市小・中学校施設整備方針策定 滝川市小・中学校適正配置計画策定
3 月	江陵中学校武道場改築工事完了 江陵中学校耐震改修工事完了 西小学校共同調理場等増築工事完了 滝川市スポーツセンター第 2 体育館耐震等改修工事完了 東栄市民プールを閉鎖 滝川屯田兵文書（第二大隊第三中隊・第四中隊文書）が北海道有形文化財に指定 滝川市 B & G 海洋センター改修工事（桟橋及びトイレ改修工事）完了
4 月	平和都市宣言
6 月	滝川市 B & G 海洋センターリニューアルオープン式典・舟艇器材贈呈式挙行政
8 月	西小学校共同調理場開設
11 月	滝川西高等学校がスウェーデン・ヴィトフェルスカ高等学校と交換留学協定調印

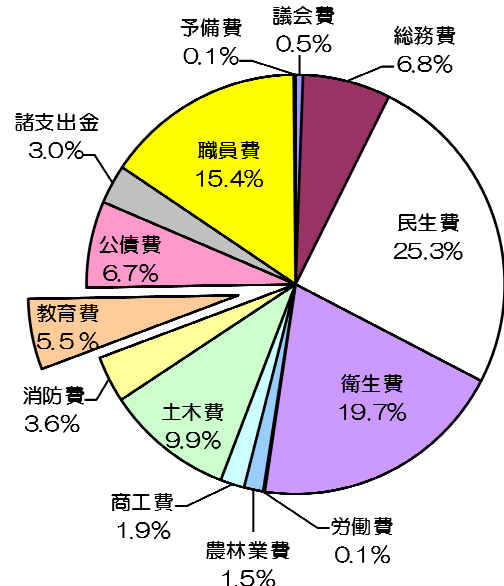
年 月	で き ご と
平成 29 年 1 月	第2期滝川市教育推進計画(平成29年度～令和3年度)策定
3 月	滝川市スポーツセンター第1体育館耐震等改修工事完了 西公園パークゴルフ場を廃止
4 月	滝川市スポーツセンター第1体育館リニューアルオープン式典举行
5 月	滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場仮オープン(3コース27ホール)
29 年 6 月	滝川西高等学校がスウェーデン・ヴィトフェルスカ高等学校と短期留学生相互派遣事業を開始
7 月	滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場グランドオープン(8コース72ホール)
8 月	第99回全国高等学校野球選手権大会に滝川西高等学校が出場
30 年 4 月	滝川西高等学校が職業学科を会計ビジネス科2間口・情報ビジネス科2間口から、情報マネジメント科3間口に学科転換(1間口減)
8 月	外国語指導助手(ALT)を1名増員(小・中学校6名体制)
11 月	学校における働き方改革 教職員業務改善推進プラン策定
12 月	滝川市美術自然史館、こども科学館冬季休館を実施開始(12月～2月)
31 年 1 月	市立中学校でフッ化物洗口開始
31 年 3 月	第2次滝川市子どもの読書活動推進計画(2019年～2023年)策定
4 月	コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を導入
令和 元 年 10 月	アルゼンチン共和国パラリンピック委員会と東京2020パラリンピック競技大会滝川合宿に関する定協書を締結
2 年 2 月	図書館が第23回図書館を使った調べる学習コンクール図書館を使った調べる学習活動賞を受賞
2 年 8 月	学校給食調理業務等の業務委託を開始した
12 月	農村環境改善センターに岩橋英遠コーナー、あーと&ひすとリーぼっくす(構成 美術自然史館)、えべおつ出合いの森(構成 図書館)を設置した
3 年 1 月	第2期滝川市小・中学校適正配置計画策定
3 月	市立小・中学校に高速大容量の通信環境及び学習者用端末を整備
6 月	新型コロナウイルス感染拡大により、アルゼンチン共和国パラリンピック委員会と協議の上東京2020パラリンピック競技大会滝川合宿の中止を決定
7 月	滝川市文化センター大ホールの利用休止
8 月	滝川市学校施設長寿命化計画策定 第2期滝川市教育推進計画の一部改訂(計画期間を1年延長し、令和4年度までとした)
9 月	東京2020パラリンピック競技大会において共生社会ホストタウン共同応援プロジェクト アルゼンチン×滝川市を実施 北海道人造石油株式会社滝川工場関係資料が国立科学博物館より重要科学技術史資料として登録
11 月	図書館がLibrary of the Year2021ライブラリアンシップ賞を受賞
4 年 3 月	江部乙中学校と江陵中学校の統合により、江部乙中学校を閉校 江部乙共同調理場閉鎖 滝川市文化センター閉館
4 月	滝川市民交流プラザオープン 滝川市テニスコートプレオープン(4面)
10 月	滝川西高等学校創立50周年記念式典举行
5 年 3 月	空知川パークゴルフ場廃止
5 年 4 月	第3期滝川市教育推進計画(令和5年度～令和9年度)策定 滝川市テニスコート全面供用開始(8面)
6 年 3 月	新たな海洋センター整備に関する基本構想策定 第3次滝川市子どもの読書活動推進計画(2024年～2028年)策定 滝川市立図書館開館50周年記念誌発行
4 月	滝の川市民プールの利用休止 滝川西高等学校の制服を50年ぶりに変更し、新入生からブレザーを採用

5

予算の概要

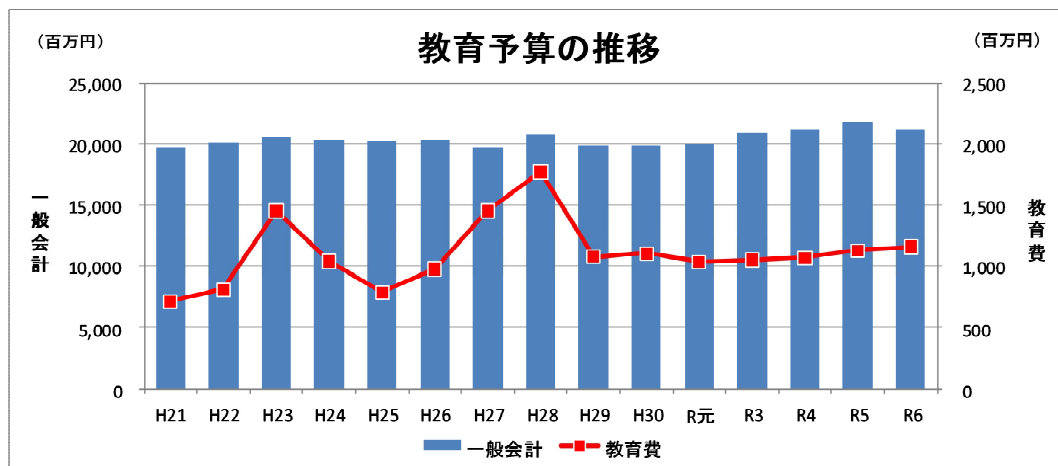
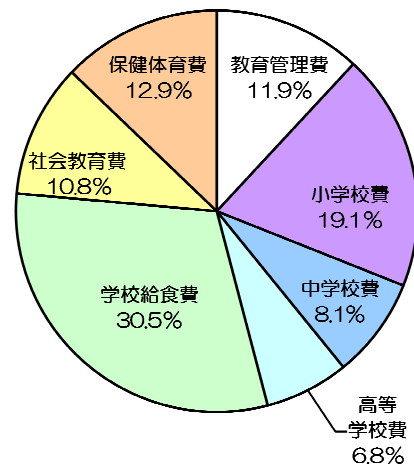
令和6年度一般会計予算の構成（人件費は職員費に含む）

区分	予算額（千円）	割合（％）
議会費	120,451	0.5%
総務費	1,431,519	6.8%
民生費	5,356,713	25.3%
衛生費	4,168,408	19.7%
労働費	26,502	0.1%
農林業費	313,619	1.5%
商工費	391,832	1.9%
土木費	2,089,416	9.9%
消防費	762,148	3.6%
教育費	1,156,269	5.5%
公債費	1,418,583	6.7%
諸支出金	640,000	3.0%
職員費	3,256,540	15.4%
予備費	30,000	0.1%
計	21,162,000	100.0%



令和6年度教育費の構成

区分	予算額（千円）	割合（％）
教育管理費	137,649	11.9%
小学校費	221,176	19.1%
中学校費	93,849	8.1%
高等学校費	78,276	6.8%
学校給食費	352,585	30.5%
社会教育費	124,382	10.8%
保健体育費	148,352	12.9%
計	1,156,289	100.0%



II 学校教育

1

学校教育の充実

確かな学力と知識・教養の育成

基礎学力の定着と家庭学習の習慣化

○児童生徒一人ひとりの理解度に応じて問題を出題できる「AI(人工知能)ドリル」を市内の全小・中学校へ導入し基礎学力の定着と家庭学習の習慣化を図る。

効果的な少人数の指導、習熟度別の指導

○学びサポーターの配置。
○「ICT活用実践事例集」や「小・中学校9年間を通したICTスキル体系表」に基づいた1人1台端末の効果的な活用。

ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

○北海道教育委員会の「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」を滝川第三小学校と西小学校が主導し、他校への訪問や支援を行い、授業改善を市内全体に拡大する。

外国語を使ったコミュニケーション能力の向上、異文化を理解する力の育成

○外国語指導助手(ALT)による授業支援。
○長期休業期間を利用した個別学習「ALT英会話学習」を実施しネイティブの外国語に触れる機会を充実させる。
○「英検ESG」や「英検IBA」を活用し、児童生徒の読む・書く・聞く・話すのバランスの取れた英語力の育成を図る。

キャリア教育

○「総合的な学習の時間」において自ら課題を見つけ解決していく探究的な学習を取り入れ、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育む。
○実社会での職場体験活動を通じて、勤労観・職業観の醸成に努める。

豊かな心と健やかな体の育成と多様な教育ニーズへの対応

いじめの防止対策

○SNSやメッセージアプリ上での「ネットいじめ」が全国的に増加していることから、各学校のいじめ対策組織を十分に機能させ、いじめ防止専門委員会やいじめ問題対策連絡協議会の専門的な知見も取り入れ、未然防止に取り組むほか、いじめ見逃しゼロを徹底し、早期発見・早期対応に努める。
○子どもたちがいじめの問題を主体的に考えるための「絆づくり成果交流会」を開催し、児童会・生徒会によるいじめ撲滅に向けた活動を共有し合い、「いじめを絶対に許さない学校づくり」の取組みを支援する。
○改定した「滝川市子どもはいじめ防止基本方針」の趣旨を踏まえ、実効性のあるいじめ防止等の取組みを進める。

不登校児童生徒への支援・対策

○児童生徒個々の学校生活に対する満足感や充足感を把握し、その結果に応じた支援内容の見直しを行うとともに、中1ギャップを防ぐ小・中連携の取組みを支援するなど、不登校の未然防止に努める。
○適応指導教室での学習指導や体験活動により、自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指すほか、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと学校が連携した取組みを行う。
○対面でのコミュニケーションを苦手とする不登校児童生徒の学びの場を確保するため、オンライン型フリースクールなどさまざまな手法を検討する。

道徳教育の推進

○「先生が中心となり進めていく授業」から「考え、議論する道徳」への質的転換を図るため、外部講師による教職員を対象とした研修会を開催し、子どもたちの豊かな情操や道徳の実践力を育む。

教育環境の整備

体力向上対策

- 体育専科エキスパート教員による専門性を活かした指導のほか、スポーツへの興味関心や運動意欲を高める取組みを実践し、体力向上を図る。
- 運動に親しみ、楽しく体力づくりを行う北海道教育委員会の「どさん子元気アップチャレンジ」事業を活用し、運動機会の創出に努める。

特別支援教育

- 教育支援委員会による教育相談により、一人ひとりの障がいの状況に応じたきめ細かなニーズを把握しながら、個別の「指導計画」、「教育支援計画」を作成し、福祉部局と連携して幼児期から一貫した支援を行う。

コミュニティ・スクール

- 学校運営協議会ごとの活動をサポートするほか、知識や技能を有する地域ボランティアを農業体験や食育授業、学習支援事業に派遣するなど、地域とともにある学校づくりを推進する。

部活動の地域移行

- 児童生徒、保護者や教職員の意見等を踏まえながら、将来にわたりスポーツや文化活動を継続できる環境整備を目指し、各学校や校長会、市PTA連合会、学校運営協議会、スポーツ・文化団体等の関係団体で構成される協議会を設置し、将来的な部活動の在り方について検討を進める。

教職員の働き方改革

- 北海道の「学校における働き方改革 北海道アクション・プラン」の改定に伴い、本市においても「業務改善推進プラン」を改定し、併せて教職員が使用する校務用パソコンの更新を行い、無線LANを活用して効率的に校務を行える環境を整える。

小・中学校の適正配置・施設改修

- 「第2期 滝川市小・中学校適正配置計画」に基づき、各校区の保護者や地域住民との意見交換を進める。
- 「滝川市公共施設個別施設計画」において改築が予定されている滝川第一小学校については、よりよい教育環境の整備と教育の質の充実を目指し、今後の児童数の減少を見据えた規模や、学校に求められる機能・役割等を検討し、基本構想の策定に着手する。
- 施設の安全点検を定期的に行うとともに、主な大規模改修として、滝川第二小学校放送設備改修工事、江部乙小学校及び江陵中学校の体育館屋根改修工事、明苑中学校照明器具のLED化工事を実施する。

滝川西高等学校の教育の充実

英語教育・国際理解教育

- グローバル社会に適應できる人材を育成するため、引き続き2名の外国語指導助手（ALT）を配置し、日常英会話をはじめとしたコミュニケーション能力の向上を図る。
- 異文化を知り、国際感覚を身につけるため、姉妹校であるアメリカ・ロングメドウ高校や交流提携校であるスウェーデン・ヴィトフェルスカ高校との短期留学事業を実施する。

キャリア教育

- 企業と連携した取組みとしてインターンシップによる職業体験を実施する。
- 生徒が主体的に課題を選択し、情報収集や研究活動で探究を深める「課題研究」を行う。
- 将来に役立つスキルや思考力を養い、生徒が希望する進路の実現を図る。



幼児教育

学校法人 滝川学園 滝川幼稚園

所在地 〒073-0031 栄町2丁目7-13
 TEL : 23-2478 FAX : 23-2445
 URL <http://www.takikawayouchien.jp>

園長 泉 敬之
開園年月日 昭和28年5月16日
法人格取得年月日 昭和30年3月16日
教育目標

- ・広々とした園庭でのびのびと遊び、自然との関わりを大切にする
- ・自由保育中心で、年齢にふさわしい個の育ちを大切に、自立する力を育て生きる尊さを知る
- ・真理（素直仲良く）を基とし、感性豊かな明るい子供を育てる

園児数・学級数

3歳児	4歳児	5歳児	合計
52 (2)	64 (2)	56 (2)	172 (6)

※ () は学級数

学校法人 滝川興禅学園 滝川白樺幼稚園

所在地 〒073-0017 一の坂町西1丁目1-5
 TEL : 24-6720 FAX : 24-6752
 URL <http://shira-kaba.cocolog-nifty.com/>

園長 芳村 元悟
開園年月日 昭和44年3月6日
法人格取得年月日 昭和43年12月28日
教育目標

- ・他を思う心
- ・けじめを尊ぶ心
- ・美しいものを見る心
- ・自分を振りかえる心

園児数・学級数

3歳児	4歳児	5歳児	合計
10 (1)	10 (1)	14 (1)	34 (3)

※ () は学級数

3

義務教育

小 学 校

滝川市立滝川第一小学校〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕



開校年月日 明治26年11月19日
校地面積 10,179㎡ 建物延面積 7,096㎡
鉄筋コンクリート3階建

〒073-0017 一の坂町西2丁目1番70号
TEL: 23-2219 FAX: 23-3517

校 長	奥山 直人 (R6.4～)
教 頭	渡邊 昭夫 (R5.4～)
教職員数	22人
学級数	10学級 (うち特別支援3学級)
児童数	203人
教育目標	・進んで学習する子ども ・思いやりのある子ども ・じょうぶな子ども

特色ある教育活動

- みんなで創る滝一の教育『いい顔・いい声・いい心』
- ①社会の変化に対応する実践力を育む教育の推進
 - ②豊かな心と人間性を育む教育の推進
 - ③心や体の健やかな成長を促す教育の推進
 - ④地域とともにある学校、学校力を支える組織づくりと人材育成の実現

滝川市立滝川第二小学校



開校年月日 明治23年12月5日
校地面積 37,714㎡ 建物延面積 7,096㎡
鉄筋コンクリート3階建

〒073-0004 滝の川町東1丁目1番45号
TEL: 23-2786 FAX: 23-2027

校 長	坪江 潤 (R6.4～)
教 頭	谷口 貴志 (R5.4～)
教職員数	48人
学級数	16学級 (うち特別支援6学級)
児童数	248人
教育目標	・じょうぶな子 ～心身ともに健康で、心豊かな子～ ・考える子 ～思考力に富み、創造性豊かな子～ ・やりぬく子 ～責任を重んじ、実践力のある子～ ・思いやりのある子 ～人を大切にし、共に生きることのできる子～

特色ある教育活動

- 自分にあった学び方がわかり、自らの学びを調整しながら進んで学びに向かう子どもの育成
 - ・子どもたちが互いに学び合い、自らの課題に挑戦する「単元内自由進度学習」の推進
- 教師の専門性を活かし、きめ細やかな教育活動の推進
 - ・体育エキスパート教諭 (全学年)、外国語専科 (3～6年生)、理科専科 (3～6年生)、図工専科 (全学年)、音楽専科 (1・2年) の活用
 - ・学習支援教諭や退職人材による習熟度別少人数指導
- 1人1台端末を活用した取組
 - ・各教科、家庭学習でICT機器を活用した効果的な学習活動の展開
- 豊かな心を育む教育の推進
 - ・体験的活動を重視した道徳性の育成
 - ・外部講師活用による授業を積極的にに行い、児童のキャリア観を育成する

滝川市立滝川第三小学校 〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕



開校年月日 大正7年4月19日
校地面積 18,578㎡ 建物延面積 7,321㎡
鉄筋コンクリート3階建

〒073-0036 花月町2丁目2番12号

TEL: 24-6107 FAX: 24-6105

〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕平成27年4月1日開設

校 長	加藤 敦 (R5.4～)
教 頭	二口 貴雅 (R6.4～)
教職員数	36人
学級数 児童数	16学級 (うち特別支援4学級) 301人
教育目標	すすんで実行し、力をあわせて、やりぬく子ども ・よく学ぶ子 (知) ・心の豊かな子 (徳) ・じょうぶな子 (体)

特色ある教育活動

- 「三小スタイル」「学年内専科」による全校統一的な学習指導
- 「自立した学習者の育成」に向けた授業実践
- 受け継がれる学び合い活動、「学びのボランティア」の取組
- タブレットPC等のICT機器を活用した授業づくりの推進
- 朝読書・市立図書館との連携事業等、言語環境の充実、食育の推進
- 学びサポーターやスクールカウンセラーを活用した子どもの心の居場所づくりの推進
- 全教職員の支援体制による特別支援教育の推進
- 通級指導教室の指導の充実
- 北海道教育委員会指定事業「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」配置校
- 文部科学省委託事業「効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業」配置校

滝川市立西小学校 〔学校給食西小学校共同調理場〕



開校年月日 昭和31年4月1日
校地面積 34,692㎡ 建物延面積 6,688㎡
鉄筋コンクリート2階建

〒073-0044 西町6丁目7番17号

TEL: 24-6275 FAX: 24-6276

校 長	山中 晴吾 (R5.4～)
教 頭	佐藤 憲弘 (R6.4～)
教職員数	32人
学級数 児童数	12学級 (うち特別支援4学級) 215人
教育目標	○自分の考えをもち、進んで学習する子 ○思いやりがあり、心の豊かな子 ○ねばり強く、たくましい子 ～子どもたちのめあてのことば～ 考える子・思いやる子・やりぬく子

特色ある教育活動

- 北海道教育委員会指定事業「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」の活用
 - ・1人1台端末を効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
 - ・MEXCBT等のデジタル教材を活用した家庭学習の充実に向けた取組
- 「加配教員」「学びサポーター」「支援員」等を活用した、複数教員によるきめ細やかな指導の充実
- 栄養教諭と連携した食に関する指導の充実
 - ・稲作体験を通したお米についての学習、菜種搾油見学、りんご農家見学 等
- 「校内支援委員会」や特別支援教育コーディネーター機能の充実を図り、全校的な取組としての児童支援
- 通級指導教室による言語・発達の遅れに対応した指導
- 読書通帳・読書郵便の実施による読書活動の充実
- 地域と連携して取組む児童の健全育成
 - ・西地区青少年育成会、西地区子ども見まもり隊、西地区三校クリーン作戦

滝 川 市 立 江 部 乙 小 学 校

 開校年月日 昭和50年4月1日 校地面積 58,773㎡ 建物延面積 5,422㎡ 鉄筋コンクリート2階建 〒079-0463 江部乙町東13丁目1426番地1 TEL: 75-2404 FAX: 75-2030 〔学校給食江部乙共同調理場〕平成13年4月1日開設	校 長	壽崎 正人 (R5.4～)
	教 頭	高坂 毅 (R6.4～)
	教職員数	16人
	学級数 児童数	9学級 (うち特別支援3学級) 45人
	教育目標	〈主目標〉 「人間性豊かな実践力のある子ども」 〈具体目標〉 ・知 自分で考え、表現し、解決に向けて努力する子ども ～思考・表現・学び～ ・徳 お互いの良さを認め、力を合わせ、やりぬく子ども ～協働・思いやり・ねばり強さ～ ・体 生涯にわたって、健康で、たくましい子ども ～健康・運動～
特色ある教育活動	○地域との連携と開かれた学校づくり ・地域の人材を活用した体験学習 (菜の花、そば、田んぼとの関わりなど) ・北辰の森 植樹祭への参加 (6年生) ・共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の推進 (そらぶちキッズキャンプ、アダプテッドスポーツ体験など) ・中学校区内小学校 (三校) 交流会 ○集会における縦わり班活動 ・こっ子集会を開催 (異学年交流や地域老人クラブとの交流) ○研究主題 ・主体的に学ぶ子どもの育成 ～意欲の高まりと持続性を旨とした授業づくり～	

滝 川 市 立 東 小 学 校

 開校年月日 昭和53年4月1日 校地面積 39,417㎡ 建物延面積 5,819㎡ 鉄筋コンクリート3階建 (一部4階) 〒073-0014 文京町2丁目1番1号 TEL: 23-1591 FAX: 24-7819	校 長	中川 浩之 (R5.4～)
	教 頭	長尾 孝明 (R6.4～)
	教職員数	39人
	学級数 児童数	17学級 (うち特別支援4学級) 400人
	教育目標	〈総括目標〉 美しい心で生き生きと学ぶたくましい児童を育む ・進んで考え 学び合う子 (知育) ・友だちや自然を愛する ゆたかな子 (徳育) ・ねばり強くやりぬく たくましい子 (体育)
特色ある教育活動	○あいさつ学校の推進～学校・PTA・地域との連携 ・児童会による挨拶運動 ・街頭指導や地域ボランティアの方との交流 ○歌声の響く学校～歌声集会の実施～ ・1年を通じた歌声活動「今月の歌」 ・歌声集会での成果の発表・交流 ○地域の風薫る学校～地域人材の活用と異校種との連携 ・滝川第三小学校・明苑中学校・國學院大學北海道短期大学部との連携 ・おはなしの会による読み聞かせボランティア ○みんなが温かい心で過ごせる学校～いじめ・差別・偏見を生まない風土 ・みんなで遊ぶ日の設定 ・絆づくりメッセージコンクールへの参加 ○研究主題：主体性を発揮して学ぶ児童の育成 ～「見方・考え方を働かせた学習活動」の充実を図った授業実践を通して～	

中 学 校

滝 川 市 立 江 陵 中 学 校

 開校年月日 昭和22年5月1日 校地面積 36,881㎡ 建物延面積 7,123㎡ 鉄筋コンクリート3階建 〒073-0011 黄金町西1丁目7番18号 TEL: 24-6156 FAX: 24-6155	校 長	橋本 展晴 (R5.4～)
	教 頭	小野寺 英樹 (R5.4～)
	教職員数	36人
	学級数 生徒数	14学級 (うち特別支援5学級) 298人
	教育目標	教育目標 (知) 自ら考え、真理を究めよう (徳) 豊かな心で、明るく生きよう (体) 心身をきたえ、たくましく伸びよう 校訓 自主 躍動 調和
特色ある教育活動	○江陵中学校区学校運営協議会を核とした滝川第一小学校、滝川第二小学校、江部乙小学校との連携・協力・交流の推進による小中9ヶ年を見通した滑らかな接続の推進 ○集団(全体)との対話 ～小集団内から全体への還流・深化を図る授業改善の取組による学力向上の取組 ○自己存在感や自己肯定感、自己決定の視点を意識した生徒指導の推進 ○ピア・サポートの視点を取り入れた人間関係づくりや集団づくりの推進 ○生徒会が主体となったいじめ未然防止への取組 ○自分の生き方を見出す「キャリア教育」の充実 ○様々なスタッフの配置による教育活動の推	

滝 川 市 立 明 苑 中 学 校 〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕

 開校年月日 昭和22年5月1日 校地面積 21,688㎡ 建物延面積 7,123㎡ 鉄筋コンクリート3階建 〒073-0033 新町4丁目9番1号 TEL: 23-2129 FAX: 26-1201	校 長	渡辺 禎 (R5.4～)
	教 頭	柳沼 浩次 (R6.4～)
	教職員数	51人
	学級数 生徒数	19学級 (うち特別支援6学級) 437人
	教育目標	教育目標 「志を高く持ち、 健やかな体で、 互いに磨き合おう」 校訓 立志 練磨 継続
特色ある教育活動	○少人数指導や習熟度別指導を通じた個に応じた指導(英語・国語) ○住みよい学校生活を目指した生徒会の自治活動「いじめ撲滅集会」 ○仲間とともに汗を流す「部活動の明苑」 ○心を開いて明るく元気よく「あいさつの明苑」 ○空知の歴史を探究する「炭鉄港」教育(総合的な学習の時間)	

滝川市立開西中学校〔学校給食西小学校共同調理場〕

 開校年月日 昭和37年4月1日 校地面積 25,638㎡ 建物延面積 5,624㎡ 鉄筋コンクリート3階建 〒073-0044 西町3丁目7番12号 TEL: 23-3549 FAX: 22-4219	校 長	濱本 有未代 (R5.4～)
	教 頭	小笠原 真樹 (R6.4～)
	教職員数	24人
	学級数 生徒数	7学級 (うち特別支援2学級) 127人
	教育目標	教育目標 豊かな知性と人間性を身につけ、集団の向上に努める 自ら考え、柔軟に創造し、自ら道を拓く 正邪の判断を明確にし、たくましい実践力をもつ 心身を鍛え、人とのふれあいに真心を尽くす 校訓 感動 創意 勇気 強健
特色ある教育活動	○北海道教育委員会指定事業「不登校児童生徒に対する支援推進事業」の活用 ○ひとりひとりの9年間に着目した小中連携教育 ○ひとりひとりの教員の得意分野を生かすチーム担任制 ○地域に愛着をもち、地域のために行動する生徒の育成	

中 学 生 の 進 路 状 況

(令和6年3月卒業生)

	全 日 制								定時制 (滝川高校等)	通信制 ｸｰｸﾞ高校 有朋高校等	工業高専 盲・聾学校 養護高等 専修等各種	就職 その他	計
	滝川西高校		滝川高校		滝川工業高校		市外の 公立高校	市外の 私立高校					
	普通	情報マネジ メント	理数	普通	電子 機械	電気							
江陵中学校	18	21	4	17	8	5	22	4	3	7	2	1	112
明苑中学校	16	19	7	34	1	16	15	3	5	1	1	0	118
開西中学校	6	8	0	8	4	4	12	1	1	0	0	1	45
計	40	48	11	59	13	25	49	8	9	8	3	2	275

小・中学校の児童生徒数及び学級数

(令和6年5月1日現在)

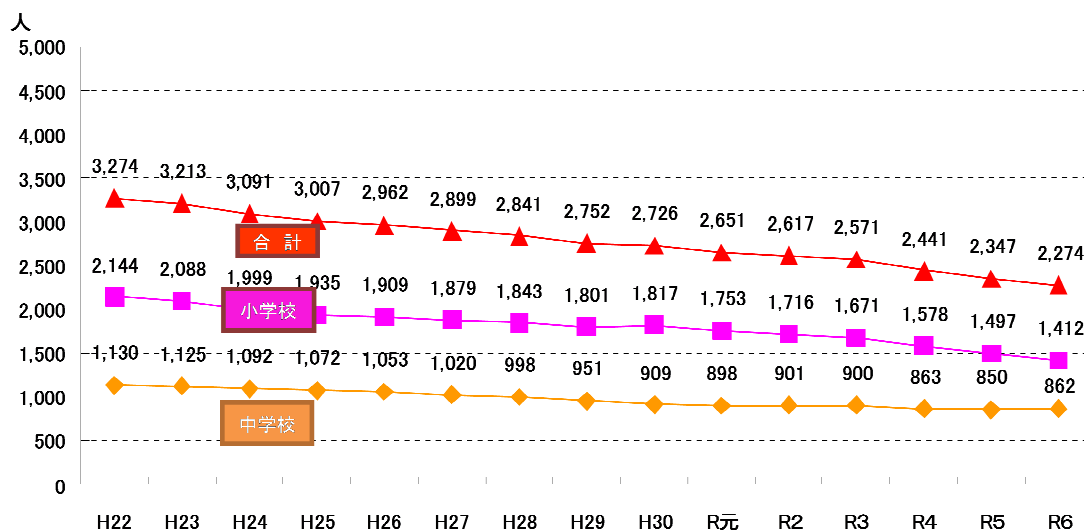
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援	合計
滝川第一小学校	47 (2)	26 (1)	32 (1)	24 (1)	34 (1)	29 (1)	11 (3)	203 (10)
滝川第二小学校	31 (1)	36 (2)	39 (2)	25 (1)	48 (2)	46 (2)	23 (6)	248 (16)
滝川第三小学校	48 (2)	49 (2)	40 (2)	45 (2)	55 (2)	45 (2)	19 (4)	301 (16)
西小学校	24 (1)	33 (1)	35 (1)	38 (2)	30 (1)	38 (2)	17 (4)	215 (12)
江部乙小学校	12 (1)	5 (1)	8 (1)	3 (1)	9 (1)	5 (1)	3 (3)	45 (9)
東小学校	52 (2)	67 (2)	57 (2)	73 (3)	68 (2)	62 (2)	21 (4)	400 (17)
小学校合計	214 (9)	216 (9)	211 (9)	208 (10)	244 (9)	225 (10)	94 (24)	1,412 (80)

※ () 内は学級数

	1年生	2年生	3年生	特別支援	合計
江陵中学校	95 (3)	82 (3)	101 (3)	20 (5)	298 (14)
明苑中学校	147 (5)	132 (4)	135 (4)	23 (6)	437 (19)
開西中学校	29 (1)	51 (2)	44 (2)	3 (2)	127 (7)
中学校合計	271 (9)	265 (9)	280 (9)	46 (13)	862 (40)

※ () 内は学級数

児童生徒数の推移



通級指導教室事業

＜開設目的＞

通常の学級に在籍している軽度の障がいのある子どもに対して、各教科等の指導の大部分はそれぞれの学級で行いつつ、個々の障がいの状況に応じた特別の指導を行うことを目的として設置している。

＜設置場所及び開設年月日＞

滝川第三小学校 平成5年4月
 滝川第二小学校 平成23年4月
 明苑中学校 平成24年4月
 西小学校 平成26年4月
 東小学校 令和6年4月

＜通学区域＞

滝川第三小学校 ～ 滝川第一小学校、滝川第三小学校
 滝川第二小学校 ～ 滝川第二小学校、江部乙小学校
 西小学校 ～ 西小学校
 東小学校 ～ 東小学校
 明苑中学校 ～ 江陵中学校、明苑中学校、開西中学校

＜所管課＞

教育総務課

適応指導教室事業

＜教室名称＞

ふれあいルーム

＜開設目的＞

不登校児童生徒の学校復帰を図るための指導・支援と相談業務等

＜開設年月日＞

平成7年7月1日

＜指導体制＞

教育支援専門員 4名（うちスクールソーシャルワーカー兼務1名、地域コーディネーター兼務2名）

＜開設場所＞

教育支援センター 1階 TEL:74-4800

＜相談・指導内容＞

- 児童生徒に対する相談・指導支援
 - (1) 児童生徒の実態に応じた個別指導及び教育相談
 - (2) 児童生徒の実態に応じた集団活動支援
- 保護者に対する教育相談
 - (1) 個別の相談活動を通して児童生徒の対応について相談及び支援等

＜所管課＞

教育総務課

特別な支援を要する児童生徒の就学状況

○特別支援教育諸学校（令和6年5月1日現在）

	障がい 区 分	学年別内訳（小学生）						学年別内訳（中学生）			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
美唄養護学校	知 的	1					2	1	3	2	9
旭川盲学校	視 覚								1	1	2
鷹栖養護学校	知 的						1				1
旭川聾学校	聴 覚						1		1		2
手稲養護学校	肢体不自由				1						1

○市立小中学校（令和6年5月1日現在）

	障がい 区 分	学年別内訳						合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
滝川第一小学校	知 的			4		2	1	11
	言 語		1					
	自閉・情緒	1			2			
滝川第二小学校	知 的	3	3	1	2	1		23
	肢体不自由						1	
	言 語	1		1				
	自閉・情緒	1	1	3	1	2	2	
滝川第三小学校	知 的	1	1	2	1	2	1	19
	肢体不自由			1				
	言 語	1	1					
	自閉・情緒	1		1	3	1	2	
西 小 学 校	知 的		1		3	1	1	17
	言 語			1				
	自閉・情緒	2	1	1	3		3	
江 部 乙 小 学 校	肢体不自由	1						3
	言 語					1		
	自閉・情緒			1				
東 小 学 校	知 的		1		1	1	2	21
	肢体不自由			1				
	自閉・情緒	5	2	4	1	2	1	
小 学 校 計		17	12	21	17	13	14	94
江 陵 中 学 校	知 的	3	5	1	/			20
	肢体不自由			1				
	言 語	1		1				
	自閉・情緒	3	2	3				
明 苑 中 学 校	知 的	4	4	2				23
	肢体不自由	1						
	言 語	1						
	自閉・情緒	4	6	1				
開 西 中 学 校	病 弱		1					3
	自閉・情緒	2						
中 学 校 計		19	18	9				46
小中学校合計								140

学 校 給 食

滝川市では全ての小学校・中学校において完全給食を実施しています。

【1食当たりの単価】

小学校 278円、中学校 335円

(ただし、令和5年度から小学校21円、中学校25円を公費負担しています。)

【給食の実施状況】

学校名	方式	調理場名
滝川第一小学校	共同調理場	滝川第三小学校共同調理場
滝川第二小学校	単独調理場	
滝川第三小学校	共同調理場	滝川第三小学校共同調理場
西小学校	共同調理場	西小学校共同調理場
江部乙小学校	単独調理場	
東小学校	単独調理場	
江陵中学校	単独調理場	
明苑中学校	共同調理場	滝川第三小学校共同調理場
開西中学校	共同調理場	西小学校共同調理場

※共同調理場方式とは、複数校の給食をまとめて調理した上で、各学校に配送する方式です。

単独調理場方式とは、その学校の調理場で調理する方式です。

4 高等学校教育

北海道滝川西高等学校

所在地	〒073-0044 西町6丁目3-1
	TEL: 24-7341 FAX: 24-7342
校長	三井 智和
教頭	鎌本 光司
教職員数	57人
開校年月日	昭和48年4月1日
教育目標	

- 自ら学び続ける意欲と態度をもち、目標に向かって自己実現を図ることができる生徒の育成
- 心豊かに、ともに支え合い、たくましく、主体的に行動することができる生徒の育成
- 学科の特徴を生かした取組により、地域の発展に貢献することができる生徒の育成

生徒数・学級数

	普通科	情報 マネジメント科	合計
1年	91 (3)	105 (3)	196 (6)
2年	110 (3)	97 (3)	207 (6)
3年	115 (3)	117 (3)	232 (6)
合計	316 (9)	319 (9)	635 (18)

※ () 内は学級数

北海道滝川高等学校

所在地	〒073-0023 緑町4丁目5-77
	TEL: 23-1114 FAX: 23-1115
校長	木下 温
教頭	米根 洋一郎・川口 宏明
教職員数	63人
開校年月日	昭和4年5月10日
教育目標	

高い志をもち、自己を創造し、真理を追求する心と
未来を拓く力を育む

- (1) 自学自律 高い見識
- (2) 自尊側隠 豊かな人間性
- (3) 健体康心 健やかな心と体

生徒数・学級数

	普通科	理数科	合計
1年	144 (4)	31 (1)	175 (5)
2年	159 (4)	31 (1)	190 (5)
3年	157 (4)	39 (1)	196 (5)
合計	460 (12)	101 (3)	561 (15)

※ () 内は学級数

	1年	2年	3年	4年	合計
定時制	12	9	5	1	27

北海道滝川工業高等学校

所在地	〒073-0006 二の坂町西1丁目1-5
	TEL: 22-1601 FAX: 22-1604
校長	馬道 淳一
教頭	山口 智丈
教職員数	33人
開校年月日	大正9年4月27日
教育目標	

1. 健やかな身体と強い意志を育てる
2. 確かな学力と豊かな心を育てる
3. 創造的な技術能力と勤労の態度を育てる

生徒数・学級数

生徒	電子機械科	電気科	合計
1年	19 (1)	33 (1)	52 (2)
2年	22 (1)	7 (1)	29 (2)
3年	28 (1)	4 (1)	32 (2)
合計	69 (3)	44 (3)	113 (6)

※ () 内は学級数

○高等学校卒業後の進路状況 (令和6年3月卒業生)

	大学進学	短大進学	専修学校	各種学校	就職者	その他	合計
滝川西高校	64	31	77	2	42	2	218
滝川高校(全日制)	132	6	35	3	4	15	195
滝川高校(定時制)	0	0	1	0	5	0	6
滝川工業高校	1	1	1	0	36	0	39



専修学校・大学教育



滝川市立高等看護学院

所在地 〒073-0022 大町3丁目2番29号

TEL : 24-7027 FAX : 74-7088

学 院 長 松橋 浩伸

教職員数 12人

開校年月日 昭和44年4月1日

教育理念

看護の専門職としてその役割を十分果たすことができるよう、一般教養科目をはじめ専門基礎科目・専門科目の修得を通じて自己の生き方を追求し、豊かな人間性を養い、良き社会人として、又看護師として社会に貢献できる素地を養うことを目的とする。

学生数

	1年	2年	3年	合計
看護科	19	25	23	67

卒業後の進路状況（令和6年3月卒業生）

	看護分野に就職	その他	合計
看護科	24	1	25



國學院大學北海道短期大学部

所在地 〒073-0014 文京町3丁目1番1号

TEL : 23-4111 FAX : 23-5590

学 長 平野 泰樹

教職員数 40人

開校年月日 昭和57年4月1日

教育理念

國學院大學の建学の精神である「凡（およ）ソ学問ノ道ハ本（もと）ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫（な）シ」を教育の中心に据え、高等教育機関としての短期大学を“ファーストステージ”として位置付け、教育・専門・実務のバランスのとれたカリキュラムによる教育を実践し、本学卒業後の四年制大学への編入学や就職等（セカンドステージ）の多様化する進路選択に対応した学生支援体制をとるとともに、地域に根ざした大学づくりをすすめている。

学生数

	国文学科	総合教養 学 科	幼児・児童 教育学科	合計
1年	50	95	31	176
2年	74	105	37	216
合計	124	200	68	392

卒業後の進路状況（令和6年3月卒業生）

	国文学科	総合教養 学 科	幼児・児童 教育学科	合計
大学学部	46	74	12	132
専門学校	0	1	0	1
就 業 者	13	7	27	47
上記以外	4	0	0	4
合計	63	82	39	184

III 社会教育

1

社会教育

家庭教育の支援

基本的生活習慣の定着

- 【目的】新1年生の基本的生活習慣の定着を目的とする。
【内容】各小学校で実施する1日入学時における「我が家のマナー」の周知。

安心・安全な電子メディア利用の推進

- 【目的】児童・生徒・保護者（幼児の保護者を含む）がスマートフォン等電子メディアとの正しい付き合い方を考え、身に付けることを目的とする。
【内容】○情報モラルに関する道徳教材の活用促進。
○情報モラルに関する保護者向け啓発リーフレットの発行。
○携帯電話販売店を巡回しての児童・生徒が所有するスマートフォン等のフィルタリングの徹底。
○小学校においての「スマホ安全教室」の実施
○e-ネットキャラバンの活用促進

青少年の健全育成

青少年の健全育成活動

- 【目的】地域の教育力を生かした青少年健全育成を目的とする。
【内容】○地区青少年育成会（7地区）の地域力を活かした特徴ある事業の支援。
○育成活動交流会「はぐくミックス」の開催。

健全育成事業の実施

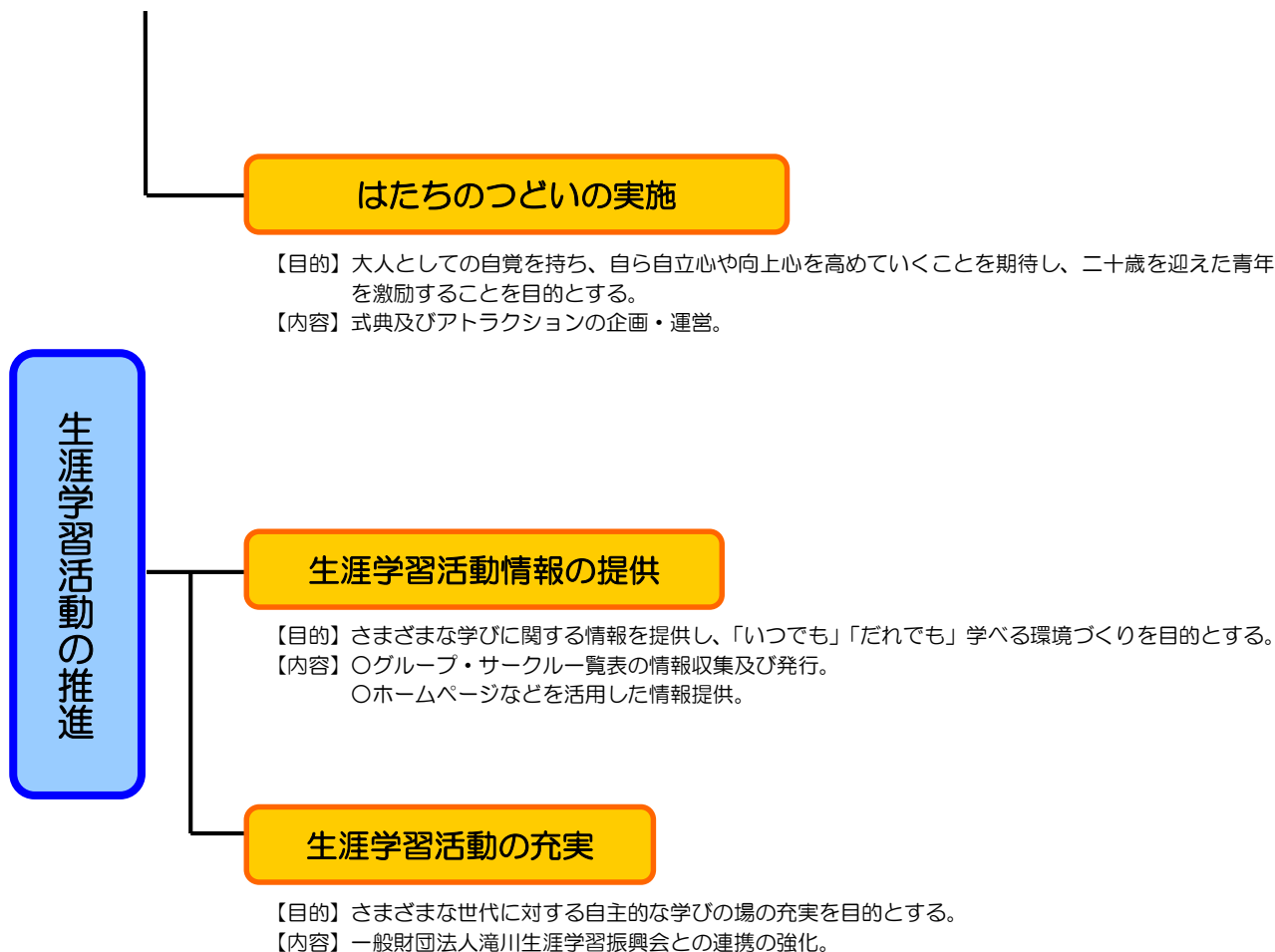
- 【目的】各種体験活動に参加する機会を提供することで、心豊かでたくましい子どもたちの育成を目的とする。
【内容】○市内3中学校生徒による「少年の主張」の開催。
○北海道独自の下の句かるたを使った「滝川市かるた大会」の開催。
○一般社団法人滝川青年会議所主催の沖縄県名護市との児童交歓事業の支援。

青少年の非行・被害の防止

- 【目的】青少年が犯罪を起こさない、犯罪にあわない健全な環境づくりを目的とする。
【内容】○警察との連携によるカラオケボックス等立ち入り調査。
○「校外生活のきまり」の作成及び周知徹底。

青年団体活動の支援

- 【目的】自主的な活動を通じて地域を支える次世代のリーダーの育成を目的とする。
【内容】青年交流プラザ振興会による青年団体活動の支援。



社会教育施設の概要

● 音楽公民館

【所在地】〒073-0033 新町3丁目8番3号 TEL：24-7479
【敷地面積】1,267.00㎡ 【延床面積】1,024.50㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造2階建
【施設概要】講堂、会議室、研修室、和室、視聴覚室ほか
【開館年月日】昭和56年12月20日 【管理】中央ビルメンテナンス(株)空知事業部

● 教育支援センター

【所在地】〒073-0014 文京町4丁目1番1号 TEL：74-4800
【敷地面積】6,756.22㎡ 【延床面積】1,789.75㎡ 【構造】鉄骨・鉄筋コンクリート造2階建
【施設概要】会議室、和室、体育館、ふれあいルーム、相談室ほか
※空知教育センターを含む複合施設
【開館年月日】平成24年8月21日 【管理】株式会社 フジファシリティー

2

芸術文化

市民による文化 芸術活動の支援

市民による文化芸術活動の支援

- 【目的】市民が主体となり、日ごろの文化芸術活動の支援や発表の支援を行うなど、地域の文化芸術活動の推進を目的とする。
- 【内容】○風がみつけた街「たきかわ音楽祭」の支援。
○「滝川市民文化祭」の支援。
○たきかわこどもミュージックフェスタの支援。
○文化芸術活動に係る補助金の相談・申請。
○空知管内公共ホール使用料等補助金の相談・申請。

優れた芸術鑑賞 機会の提供

芸術鑑賞機会の提供

- 【目的】市民が主体となり開催する芸術鑑賞事業を支援するなど、優れた芸術鑑賞の機会を提供することを目的とする。
- 【内容】市民ロビーを活用した「ロビーコンサート」の開催。

アウトリーチ事業の推進

- 【目的】音楽や演劇などの芸術家を学校等に派遣し、質の高い文化芸術の鑑賞・体験を通して児童の豊かな心や感性を育むことを目的とする。
- 【内容】ひのき屋コンサート/西小学校

文化施設等の整備

ホール機能を有する施設の整備

- 【目的】滝川駅周辺地区再整備にあたり、ホール機能を含む施設整備を行うことを目的とする。
- 【内容】○先進事例や参考事例の調査。
○新ホールに必要な機能及び機能の具現化検討。
○新ホールの規模検討。

陶芸センターの振興

各種陶芸講座の実施

- 【目的】陶芸体験を通じ、生きがいのある心豊かな生活を送ることを目的とする。
【内容】○レベル別講座の開講。
○継続受講生を中心とするフリーレッスンの実施。

陶芸活動の普及

- 【目的】陶芸の楽しさを広く周知することを目的とする。
【内容】初心者や親子でも参加できる特別講座の開講。

文化施設の概要

● 滝川市民交流プラザ

- 【所在地】〒073-0032 明神町2丁目2番16号 ホテルスエヒロ内
TEL : 070-8718-5965 FAX : 050-3156-7474
【延床面積】2,396,619㎡ 【施設概要】メインホール 432席 小ホール 300席 他
【開館年月日】令和4年4月1日 【管理】特定非営利活動法人 アートステージ空知

● 陶芸センター

- 【所在地】〒073-0033 新町3丁目8番13号 TEL : 22-3503
【敷地面積】573.18㎡ 【延床面積】191.22㎡
【窯】15kw 窯 1基 20kw 窯 1基 自動焼成装置 1台 【開館年月日】昭和53年6月1日
【管理】陶工房たきかわ

● たきかわホール

- 【所在地】〒073-0031 栄町3丁目9番2号 スマイルビル3階 TEL・FAX : 23-6005
【延床面積】838.19㎡ 【施設概要】多目的ホール、ギャラリー、リハーサル室
【開館年月日】平成14年12月4日 【管理】平成29年4月1日～休止

3

スポーツ

体育指導及び振興

スポーツ体験機会の提供

- 【目的】誰もが気軽にスポーツに参加し、継続的にスポーツに取り組む環境づくりを目的とする。
- 【内容】○たきかわコスモスマラソンの支援。
○滝川スポーツフェスティバルの支援。
○マリンスポーツフェスティバルの支援。

子どもの体力向上の推進

- 【目的】子どもを対象とした各種運動プログラムを支援し、子どもの体力と運動能力の向上の推進を目的とする。
- 【内容】○子どもの発育発達期に応じた運動プログラム「元気アップ教室」などの支援。
○水上スポーツの体験プログラム「親子カヌー教室」などの支援。
○冬期間の運動プログラム「小学1年生スキー教室」、「低学年スケート教室」などの支援。

アダプテッドスポーツの推進

- 【目的】障がいのあるなしに関係なく、誰もが一緒に楽しむことができる環境の整備充実を目的とする。
- 【内容】児童を対象としたアダプテッドスポーツ授業の実施。

体育施設の整備

新たな海洋センターの整備

- 【目的】B & G財団の支援を受け、新たな付加機能を備えた海洋センター整備を進めることを目的とする。
- 【内容】○新たな海洋センター整備に関する基本構想（令和6年3月策定）に基づき、複合機能の詳細検討を進め、施設整備に関する調査及び実施設計を行う。
○インクルーシブな環境整備を進めるため、障がい者の方が安心・安全にカヌーの乗降ができるパラカヌーデッキの整備を行う。

滝川市スポーツセンター第2体育館の改修

- 【目的】滝川市スポーツセンター第2体育館の老朽化している床や設備の改修を行い、利用者が、安心・安全に利用できる施設に整備することを目的とする。
- 【内容】○老朽化が著しい、アリーナの床について、全面改修工事を行う。
○老朽化している音響設備の更新工事を行う。

スポーツ施設の概要

● 滝川市スポーツセンター第1体育館

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 TEL: 23-4617 FAX: 23-4351
【面積・規模等】1階 2,918㎡ (うち競技場1,736.64㎡) 2階 613㎡
【構造】鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根一部2階建
【開設年月日】昭和54年3月10日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 滝川市スポーツセンター第2体育館

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 TEL: 23-3842 FAX: 23-4351
【面積・規模等】1階 1,908.33㎡ (うち競技場875㎡) 2階 1,005.48㎡
【構造】鉄筋コンクリート造2階建 【開設年月日】昭和46年4月1日
【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● すばーく滝川（多目的施設）

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】面積: 1,183.47㎡ (クラブハウス含む) コート: 2面 (20×15m)
【開設年月日】平成4年4月1日 【所有】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● B & G海洋センター

【所在地】〒073-0041 西滝川10番地 TEL・FAX: 23-4194
【敷地面積】1,717.00㎡ 【延床面積】382.489㎡
【設備器材】OP ヨット、アクセスディンギー、サボットヨット、競技用カヌー、カヌー、ペアカヌー、カナディアンカヌー、ローボート、ライフジャケット、救助艇、競技用パラカヌー、サップ
【開館年月日】平成6年7月6日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 陸上競技場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】面積: 25,148㎡・1周400m 単心円、8コース 収容人員: 8,000人
【開設年月日】昭和49年9月15日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 滝川市営球場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内 TEL: 24-8600(※試合当日のみ)
【面積・規模等】中堅線 122m・両翼 98m 収容人員: 5,000人 照明: 6基
スコアボード: 磁気反転式
【開設年月日】昭和47年6月10日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 北電公園球場(2面)

【所在地】〒073-0042 泉町135番地6
【敷地面積】12,964㎡ 【開設年月日】昭和50年 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 滝の川球場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】中堅線 111.5m・両翼96m
【開設年月日】昭和63年7月30日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 石狩川野球場

【所在地】〒073-0035 中島町無番地
【面積・規模等】中堅線 118m・両翼96m
【開設年月日】平成3年10月に移設
【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 滝川市サッカー場

【所在地】〒073-0106 砂川市空知太
【敷地面積】20,250㎡ 【施設概要】2面 【開設年月日】平成元年
【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 文京台ソフトボール場

【所在地】〒073-0014 文京町4丁目1番1号
【敷地面積】10,600㎡ 【施設概要】2面 【開設年月日】平成25年5月26日
【管理】滝川市ソフトボール協会

● 滝川市テニスコート

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】面積: 6,612㎡・8面 照明: 6面 表層: 砂入り人工芝
【開設年月日】令和5年4月29日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● ターゲット・バードゴルフ場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】面積：3,982㎡ コース：18ホール・延長724m
【開設年月日】平成6年6月18日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 弓道場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内 TEL：23-1753
【面積・規模等】面積：900㎡ 的場照明：8灯 6人立ち
【開設年月日】昭和51年9月10日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● アーチェリー場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】練習場：5射用（射距離30m・50m）
【開設年月日】平成元年7月30日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 滝川スケート場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内 大駐車場
TEL：24-8600（オープン期間のみ） 【面積・規模等】1周170m
【開設期間】12月下旬～2月中旬（12月29日～1月5日は休み）
【運営】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 石狩川河川敷パークゴルフ場

【所在地】西滝川地先 TEL：080-9000-4808
【施設概要】8コース72ホール
【開設年月日】平成29年7月1日 【管理】株式会社 滝川振興公社

4

図書館

地域の情報・生涯学習拠点事業

通常展示

- 【目的】役に立つ、楽しめる展示を毎月複数実施して、地域の情報拠点としての情報発信と、読書への興味・関心を喚起し、読書普及につなげる。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】通年
- 【場所】図書館
- 【内容】「おやつのじかん～おいしいおはなしとレシピで、いただきます！～」、「Let's 温活」、「ソソソ」、「ふるさとぶらり自然探訪」「老いを楽しむ」ほか

読書フェスティバル

- 【目的】読書週間事業として、ワークショップや大型展示などを実施し、本との出会いのきっかけづくりや読書の楽しさを伝え、読書の普及に資する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】9月～12月
- 【場所】図書館・市役所
- 【内容】「希望の牧場」絵本原画展、絵本作家よしながこうたくライブペイント、講演会 昭和ノスタルジーⅡほか

図書館ボランティア

- 【目的】図書館利用の促進と生涯学習活動の場として図書館事業に参加し、自らの知識・技能の向上とその経験を生かした活動の拠点として、人が輝き親しみのある図書館づくりを目指す。
- 【対象】18歳以上の市民
- 【場所】図書館ほか
- 【内容】曜日ボランティア（書架整理、本の修理・整備、新聞スクラップ、広報切り抜きほか）
おはなし会ボランティア（高齢者、えほんの読み聞かせ）
朗読ボランティア

図書館視察・訪問受入れ

- 【目的】団体等の図書館視察や学校の図書館訪問を受け入れ、滝川市立図書館の仕事や活動を紹介し、図書館への理解を深めてもらうほか、要望に応じて利用案内や読み聞かせ、自由読書などのプログラムを実施して読書に親しんでもらう。
- 【対象】子どもから大人
- 【場所】図書館
- 【内容】団体、学校等からの図書館視察・図書館訪問の受入れ

高齢者施設出張おはなし会

- 【目的】高齢者サービスの一環として、図書館利用が困難な高齢者施設入居者に対して、出張おはなし会を実施することにより、読書普及を推進する。
- 【対象】高齢者施設入居者
- 【場所】市内高齢者施設
- 【内容】施設へ図書館スタッフが出張し、読み聞かせや歌、体操などを実施する。

連 携 事 業

行 政 連 携

■行政情報の収集と発信、連携事業

【目的】市役所庁舎内の特色を活かし、様々な情報を市民に提供するため、行政情報コーナーや議会図書室の設置や事業周知の連携展示等により情報発信を行うほか、健診や講座などでの図書設置、関連図書のチラシ配布、行事の協同開催や出張おはなし会などの実施により、事業推進の一助とする。また、仕事に役立つ資料や郷土資料についても収集し、各課の業務推進に資する。

【対象】子どもから大人

【期間】通年

【場所】図書館

【内容】行政情報の提供、連携展示、連携行事、行政資料・郷土資料収集、議会図書室ほか

病 院 連 携

【目的】健康情報コーナーを館内に常設して市民に役立つ図書館づくりを進めるとともに、市立病院作業療法室の患者さん製作の時節のしおりなどを利用者へ配布して、読書普及の推進に資する。

【対象】子どもから大人

【期間】通年

【場所】図書館・市立病院

【内容】健康情報収集・発信、しおりやイベント時のミニプレゼントの作成協力・配布

まちなか連携

【目的】まちなかの図書館の特色を活かし、まちなか情報コーナーを設置して市民にまちなかの様々な情報を提供するほか、まちなか連携展示を実施して、まちなかへの利用者回遊に資する。

【対象】大人

【期間】通年

【場所】図書館

【内容】まちなかの個店や団体・サークルを紹介する展示「まちなかコンシェルジュ【お店編】・【団体・サークル編】」、まちなかコンシェルジュチラシの配布、観光国際スクエアでの掲示ほか

地 域 連 携

■雑誌スポンサー制度「雑誌ささえ隊」

【目的】新鮮な情報が得られる雑誌の充実を図るため、企業、団体、個人より寄贈を募る「雑誌ささえ隊」に取り組むことで市民・企業・団体と連携し、魅力ある図書館づくりを推進する。

【対象】企業、団体、個人

【内容】1年間の雑誌の寄贈募集、読み終えた雑誌の継続的な寄贈募集、企業、団体等の紹介など

■まごころ本箱「はこぶっく」

【目的】団体や施設などが気軽に図書を利用できるように団体貸出を実施し、身近な場所での読書活動を支援することで、新たな読書コミュニティづくりを推進する。

【対象】団体・サークル、施設など

【期間】通年

【内容】3世帯以上で構成されている団体・サークル、保育所や幼稚園、児童館、学童クラブ等の通所施設、こども発達支援センター、保健センター、子育て支援センターなどへ、50冊以内、1ヶ月の期間で貸出を行う。

■どこでもドクショ。

【目的】図書館まで足を運べない市民に配慮し、地域の施設等で本にふれることができる読書環境を整備することで、乳幼児からの読書習慣の形成や生涯学習活動を支援する。

【期間】通年

【場所】①地域文庫編：市立病院地域文庫、緑寿園地域文庫、本町地区コミュニティセンター地域文庫

②シニア編：市内高齢者施設

③キッズ編：市内保育所、地域子育て支援センター、子ども発達支援センター、たきかわっこルーム

【内容】寄贈本や図書館で不用となった除籍本を提供する。

■連携イベント

- 【目的】地域と連携し、おはなし会や朗読会等のイベントを開催することにより、読書普及を推進する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】通年
- 【内容】共同でおはなし会や朗読会等のイベントの開催、歯ートフルフェスティバル

学校との連携による子どもの読書活動支援

- 【目的】子どもたちが多くの時間を過ごす場である学校において、読書の楽しさや素晴らしさを伝え、読書の習慣化を図られるよう、図書の貸出や図書室に対する支援を学校と協働して行い、子どもの読書活動を推進する。
- 【対象】児童・生徒
- 【期間】通年
- 【場所】小・中学校・図書館
- 【内容】図書館学級文庫、学校図書館運営支援、たしかわっ子ワクワクまなびプログラム、図書館訪問、読書支援、読書アルバム、おすすめの本のチラシの配布、連絡会議

國學院大學北海道短期大学部連携

- 【目的】國學院大學北海道短期大学部図書館と連携し、蔵書の有効活用を図るとともに、協働での事業に取り組み、相互の図書館の利用促進に資する。
- 【対象】短大生、大人
- 【期間】通年
- 【場所】國學院大學北海道短期大学部、図書館
- 【内容】蔵書の相互貸借、短大情報コーナーの常設、古本もってけ祭 in ありす祭

子どもの読書活動推進計画

- 【目的】第3次滝川市子どもの読書活動推進計画に基づき、すべての子どもが豊かな読書体験を通してすこやかに成長していくために、滝川市全体で子どもの読書活動を推進する。
- 【対象】0歳前から高校生・多様な支援を必要とする子ども・子どもと関わる大人
- 【期間】令和6年度～令和10年度
- 【実施主体】家庭・地域・子どもと大人が集まる施設・幼稚園・保育所・託児所・学校・図書館
- 【内容】子ども利用案内の作成、YA投票企画、対象別図書館活用ガイドの作成ほか

ブックスタート

- 【目的】読み聞かせを通じて親子がふれあう機会を持つことができるよう、子どもの成長にあわせて絵本を贈り、家庭での読み聞かせを推奨することで読書習慣定着のきっかけづくりとする。
- 【対象】4・5か月児相談を受診した子どもとその保護者
- 【期間】通年
- 【場所】保健センター
- 【内容】絵本、おすすめの本や子育て情報のチラシ、図書館オリジナルトートバッグを提供する。

出張おはなし会・図書館訪問

- 【目的】幼稚園、保育所、学童クラブ、育成会事業などの依頼に応じて、各施設や図書館でおはなし会を実施し絵本を通じたふれあいの場を提供する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】通年
- 【場所】出張おはなし会：幼稚園、保育所、児童館、障がい児通所施設など
図書館訪問：図書館
- 【内容】各施設での行事等に合わせて、図書館スタッフが施設に出向いたり、子ども達が図書館を訪問し、おはなし会を行う。

えほんとおそぼう！「おはなしのひろば」

- 【目的】絵本の読み聞かせを通じて、子どもたちの豊かな心や想像力を育むとともに、絵本への興味関心の向上のきっかけを作り、図書館での楽しいひとときを提供する。
- 【対象】子どもとその保護者
- 【期間】毎月 1 回
- 【場所】図書館
- 【内容】ボランティアと職員による絵本の読み聞かせ、工作など

子どもの読書週間

- 【目的】展示や催し物などを通じて、読書の楽しさを子どもたちへ伝えとともに、大人へは読書の重要性の周知・啓発を行い、読書習慣の形成と定着に資する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】3月29日～5月25日
- 【場所】図書館、滝川西高等学校
- 【内容】展示「Welcome to TAKIKAWA 滝川市・ロングメドー町 姉妹都市提携締結までの交流の軌跡」、「絵本でワクワク COOKING～アメリカと日本のおやつをつくろう！！～」「えほんとおそぼう！『おはなしのひろば』」

たきかわ DE 調べる学習体験講座

- 【目的】滝川市内の施設などを利用した体験学習を通して、小学生の夏休みの自由研究を支援することで、子どもたちの調べる力・表現する力を育むとともに、調べ学習への意欲を高める。
- 【対象】小学生
- 【日程】7月29日、7月30日、7月31日、8月2日
- 【場所】市内施設、市役所
- 【内容】〈陸上自衛隊コース〉「守りたい人がいる。～日本の平和と安全を守る、自衛隊の仕事を知ろう！～」
〈国際交流コース〉「モンゴルについて知ろう！学ぼう！」
〈警察コース〉「地域の安全を守るのはキミだ！～警察官のお仕事体験～」
〈メディアコース〉「これでキミも情報達人！！～新聞を読みこなせ！～」

滝川市立図書館を使った調べる学習コンクール

- 【目的】調べる学習の実践により、子どもたちの主体的な学習意欲を喚起し、情報活用能力や読解力、思考力、言語力を身につけ、生涯を通じた学び力と生きる力を育成することに資する。
- 【対象】小学生
- 【期間】9月1日募集開始、10月審査・発表・展示、11月表彰（最優秀作品は全国コンクールに推薦）
- 【場所】図書館ほか
- 【内容】テーマは自由で、小学生低・中・高学年に部門を分け、各部門の中から最優秀賞、ぶんちゃん賞、優秀賞、佳作を選出する。部門共通として、滝川をテーマにした作品の中から郷土賞、メディアを活用した作品の中から滝川記者会賞を選出する。

絵本作家ライブペイント

- 【目的】絵本作家によるライブペイントを通じて、子どもたちの豊かな心の育成と読書普及を図る。
- 【対象】子どもとその保護者
- 【日程】11月17日
- 【場所】市役所
- 【内容】絵本作家よしながこうたくライブペイント

なかそらち図書館ネットワーク推進事業

絵本作家講演会

- 【目的】絵本作家からのメッセージを直接語りかけてもらうことにより、絵本の魅力を広く伝える。
【対象】中空知地域の子どもから大人まで
【日程】10月12日
【場所】新十津川町
【内容】柴田ケイコおはなし&ワークショップ「おもしろデコめがねを作ろう！」

おはなしカーニバル

- 【目的】中空知地域の図書館相互の交流を図り、國學院大學北海道短期大学部との連携により、子どもが絵本文化に触れる機会を提供する。
【対象】中空知地域の子どもから大人まで
【日程】11月
【場所】未定
【内容】読み聞かせ、おもちゃの工作ワークショップなど

地域講習会

- 【目的】書館等での読み聞かせボランティアの新しい人材育成とともに、既存ボランティアのレベルアップを目的とする。
【対象】中空知地域の読み聞かせボランティア、読み聞かせボランティアに興味がある方
【日程】未定
【場所】未定
【内容】読み聞かせ講座

図書館の概要

● 図書館

- 【所在地】〒073-8686 大町1丁目2番15号（滝川市役所2階） TEL：22-4646 FAX：23-1284
【施設概要】図書館1,428㎡・地下書庫30㎡・閲覧席140席・学習室18席
【移転年月日】平成23年11月12日

5 博物館

美術自然史館事業

のぞいてみよう！模型の世界 ～ドールハウスから鉄道ジオラマまで～

【目的】建物模型からプラモデル、ジオラマなど、いろいろな分野がある模型の世界。本展覧会では、今年作家活動 20 周年を迎える滝川市在住のドールハウス作家・杉山武司氏の「男のドールハウス」の展示をはじめ、帆船やロボット、鉄道ジオラマなど、様々な模型の魅力を紹介する。

【対象】全市民

【期間】6月 29 日～8月 25 日

【場所】美術自然史館

【内容】(1)展示

①模型についての基本的解説

②いろいろな模型を「～の世界」として展示

・「ドールハウスの世界」～杉山武司氏の「男のドールハウス」の展示

・「鉄道ジオラマの世界」～中空知鉄道愛好会の鉄道ジオラマの展示

・「プラモデルの世界」、「食玩模型の世界」等

(2)普及事業

①ワークショップ「ミニチュア家具を作ろう」 7月 7 日

②ウェルカムアートの展示 7月 18 日

③ワークショップ「リモコン恐竜を作ろう」 7月 20 日

④ワークショップ「ミニチュア机を作ろう」 8月 11 日

教育普及活動事業

1. デッサン会

【目的】滝川美術協会会員の指導により、絵画の基礎であるデッサンを学ぶ。

【対象】全市民

【内容・期間】①裸婦デッサン会 4月 7 日、6月 16 日、10月 20 日

【内容・期間】②人物デッサン会 8月 25 日、11 月 24 日、3月 9 日

2. 化石教室

【目的】化石やそれらの産出する地層・自然・環境に関心を持ってもらうとともに、タキワカイギウをはじめ化石という地域の財産に理解を深めてもらう。

【対象】全市民

【内容】①空知川化石採集 7月 15 日

②化石レプリカ作り 1月 11 日

おでかけミュージアム

【対象】全市民

【内容】アウトリーチ活動として、学校や児童センター、公民館等にスタッフが出向いて、資料を活用した講座を行う。

こども科学館事業

月イチリカ室

- 【対象】小学生
【期間】毎月第4土曜日
【場所】こども科学館
【内容】毎月第4土曜日を「月イチリカ室」の日と定め、実験や工作など身近な科学に親しんでもらう。

わくわくサイエンス

- 【内容】楽しいサイエンスショーや科学工作の体験を夏・冬・春休みの時期に開催する。
【期間】わくわくサイエンス 8月、1月、3月
サイエンステーブル 通年

おでかけミュージアム

- 【対象】全市民
【内容】アウトリーチ活動として、学校や児童センター、公民館等にスタッフが出向いて、資料を活用した講座を行う。

冬休み こどもウィーク

- 【対象】全市民
【期間】1月7日～11日
【内容】期間中、こども科学館を無料開放

郷土館事業

郷土館事業

- 【対象】全市民
【期間】5月3日～9月29日の土日・祝日、8月15日
【場所】郷土館
【内容】地域の歴史や出来事、人々の暮らしを実物の資料や解説パネルを通じて学ぶことができる。

教育普及活動事業

1. 博物館めぐり
【対象】全市民 10月16日
2. 滝川歴史散歩
【対象】全市民 9月5日

おでかけミュージアム

- 【対象】全市民
【内容】アウトリーチ活動として、学校や児童センター、公民館等にスタッフが出向いて、資料を活用した講座を行う。

文化財保護・活用事業

文化財の調査・整備事業

【目的】 滝川の歴史を残す貴重な建造物等を後世まで確実に保存することを目的とする。

【内容】 華月館、屯田兵屋など指定文化財を整備する。

文化財の活用

【目的】 指定文化財を活用した事業を開催し、文化財保護の普及と啓発を推進することを目的とする。

【内容】 指定文化財を活用した講演会等、普及事業を実施する。

博物館の概要

● 美術自然史館

【所在地】 〒073-0033 新町2丁目5番30号 TEL: 23-0502 FAX: 23-8786

【敷地面積】 10,534.97㎡ 【延床面積】 2,889.37㎡ 【構造】 鉄筋コンクリート造2階一部地下

【施設概要】 展示室 5室、研究室、収蔵庫 【開館年月日】 昭和61年9月13日

● こども科学館

【所在地】 〒073-0033 新町2丁目6番1号 TEL: 22-6690 FAX: 23-8786

【延床面積】 1,778.30㎡ 【構造】 鉄骨・鉄筋コンクリート造

【施設概要】 展示室 4室、滝川を科学する室（研修室） 【開館年月日】 平成3年3月16日

● 郷土館

【所在地】 〒073-0033 新町3丁目8番20号 TEL: 23-0502 FAX: 23-8786

【敷地面積】 2,400.00㎡ 【延床面積】 954.21㎡ 【構造】 鉄骨造2階建

【施設概要】 展示室 3室、第二展示場、収蔵庫 【開館年月日】 昭和52年6月1日

IV その他

1 空知教育センター組合

所在地等	〒073-0014 文京町4丁目1-1 TEL: 22-1371 FAX: 22-1372
代表者	組合長 前田 康吉
構成市町村	空知管内 10市14町
設置目的	空知総合振興局所管区域内の市町が共同して教職員の研修及び研修に係る調査研究の実施並びに教育の理論と実践に係る研究を行うため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づく教育機関として設置。
開設年月日	昭和43年4月26日
組織及び機構図	
事業内容	○実践的指導力の向上に資する研修事業 ①研修講座の開催（指導実技、ICT活用等） ②学校力向上支援事業の推進 ○今日的な教育課題を解明し、その成果を活かす研究事業 ①研究主題 「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方 ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ②教育研究員と所員で構成する教育研究推進協議会を設置して研究協議及び公開授業等の実施 ○教育活動の充実に活用できる情報発信事業 ①ホームページを活用し、研修・研究事業などで実践した指導案の公開及び管内小中学校や教育研究団体の活動を紹介 ②教職員のニーズに応える公式ホームページの充実を図るとともに空知教育センター施設利用向上のため、会議室の設備や環境の良さを発信
事業推進の基本方針	未来社会が複雑で予測困難な時代になっても、持続可能な社会の創り手となることが期待される子どもたちに、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動することのできる「生きる力」を育成するためには、創意工夫を生かした特色ある教育活動を通して、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むことが大切です。 さらに、いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への対応、学習指導・特別支援教育の改善充実及びギガスクール構想におけるICTの活用などを中心課題として押さえ、その達成のために必要となる資質・能力を身につけるための研修事業、研究事業及び情報発信事業を推進します。

2 一般財団法人 滝川生涯学習振興会

所在地等	〒073-0033 新町2丁目6-1 (滝川市中央児童センター2F) TEL: 23-0294 FAX: 23-0292		
設立経過	昭和60年4月民間団体として発足し、同年9月北海道教育委員会から財団法人として認可された。 公益法人制度改革関連法の施行により平成26年4月一般財団法人として北海道から認可された。		
事業	○生涯学習に関する講演会、シンポジウム、講座の開催 ○生涯学習に関する情報の収集、提供 ○生涯学習の指導者の登録、紹介等 ○生涯学習に関する調査研究 ○生涯学習を推進する行政機関や他の団体との連携、これらの行う事業に対する協力援助 ○リブラーンいきいきカレッジの開催		
組織体制 代表者	理事長 米倉 慎一 副理事長 2人 専務理事 1人 理事 3人	監事 2人 評議員 12人 顧問 8人 事務局員 2人	
推進目標	1. 生涯学習の理解を深め、民間活力を生かした生涯学習社会の実現に努める。 2. 激動する社会の変化に対応する各種事業の推進に努める。 3. 「滝川市健康都市宣言」の趣旨実現に努める。 4. 会員開発と加入促進に努める。		
事業内容	○学習機会の提供に関する事業 1. 講演会 (1) リブラーン講演会 10月 2. 講座の開催 (1) 教養講座 ①古典文学を学ぶ講座 5～6月 ②日本神話・神話講座 前期5～7月・後期10～11月 ③滝川探訪講座 9月 ④おとなの社会科見学講座 9月 ⑤オノディとバーチャル旅行(海外編・国内編)講座 9月 ⑥カラー図版で読み解く「源氏物語」講座 10～11月 ⑦日本語再発見講座 9～10月 ⑧アイヌ文化の学び方講座 10～11月 ⑨古文書から歴史ドラマを読み解く講座 11～12月 (2) 健康・運動講座 ①楽しいズン・講座 前期5～7月・後期10～11月 ②ヨガ入門講座 前期5～7月・後期1～3月 ③リズムウォーキング講座 前期5～7月・後期10～12月 ④自宅でできる簡単な運動講座 5～10月 ⑤笑いは元気の特效薬！ラフターヨガ講座 6～2月 ⑥手を圧して全身改善！指ヨガ講座 5～1月 ⑦誰でも楽しめるポッチャ講座 10～2月 ⑧自分でできる足裏マッサージ講座 6～12月 ⑨気軽にエアロビクス講座 前期7～10月・後期1～3月 ⑩ゆる体操講座 8～10月 ⑪中国武術太極拳講座 9～10月 ⑫認知症予防運動講座 10～3月 ⑬楽しく自然にフィットネスディスコワールド講座 1～3月 ⑭ゆったりストレッチ講座 2～3月 (3) 趣味・実用講座 ①笑顔をつなぐフォークダンス講座 前期5～6月・後期2～3月 ②和楽器～お琴に挑戦！講座 5～6月 ③かわいい手編み講座 5～7月 ④クラフトバンド講座 5月 ⑤いちからはじめるボールペン字講座 5～6月 ⑥脳トレ麻雀講座 6～11月 ⑦童謡と叙情歌を楽しく歌う講座 5～12月 ⑧たのしいものづくり講座 9～10月 ⑨やってみよう！はじめての日本画講座 6月 ⑩はじめてのチーズづくり講座 6月 ⑪はじめていける季節の生け花講座 6～12月 ⑫おとなの手習い筆ペン講座 6～8月 ⑬いろいろなチーズを味わって楽しむ講座 5～10月 ⑭ゼロからはじめる楽しいオカリナ講座 7～11月 ⑮フラを楽しく踊ろう講座 7～8月 ⑯想いを筆で伝える“伝筆”講座 7～11月 ⑰簡単に描けるいやしのバステルアート講座 7・9月 ⑮星空を学び、星空を見よう講座 5・8・10月 ⑯“へたでいい へたがいい”楽しむ絵手紙講座 7・10月 ⑳基礎からはじめる手話講座 8～11月 ㉑卓上織機で小物づくり講座 7～9月 ㉒ゆっくりたのしく書に親しもう！講座 8～10月 ㉓やさしいソーブカービング講座 10・11月 ㉔楽しい“バステル切り絵”講座 12・1月 ㉕心華やぐラメで和柄模様を描こう講座 2・3月 ㉖楽しいアクセサリーづくり講座 12～3月 ㉗脳トレ～おもしろ将棋入門講座 1～2月 ㉘大人のポップスと歌謡曲を歌って楽しもう！講座 1～3月 (4) 語学講座 ①ABCからはじめる英会話講座 6～9月 ②おもてなし中国語講座 1～3月 ③初心者のための旅行英会話講座 12～3月 3. リブラーンいきいきカレッジの実施 5～3月 4. 資格認定に関する試験 (1) 漢字検定試験 6月・2月 5. その他 (1) アートステージ空知との共催事業 (2) 空知文化工房との共催事業 (3) 講座作品展示 3月 ○情報の提供に関する事業 1. 情報紙「リブラーンたしかわ」発行 年4回 2. PR情報紙発行 年1回 3. ミニ会報発行 月1回 4. 広報たしかわ及び報道機関の紙面を活用した事業案内、広報活動 5. ホームページの運営 ○指導者の登録に関する事業 1. ジャンル別講師データの追録・修正 2. 指導者の発掘 ○調査・研究に関する事業 1. 各関係機関の発行する生涯学習関連資料を収集し、事業推進の資料とする。 2. 道内外の先進地を調査し、学習の資料とする。 ○連絡推進に関する事業 1. 行政との連携を図り、事業推進の適正化と効率化を図る。 2. 多様化する学習ニーズに対応するため、道民カレッジ講座との連携を図る。 3. 各種団体との連携を深め、地域に根ざした生涯学習の推進を図る。 4. 芸術・文化・スポーツ団体等との連携を図る。 5. 有効、有益な講演事業等を推進するため、関係機関と連携し開催する。 6. グループ、サークル、団体等との連携を深め後援・協賛・共催を行う。		



滝川市文化連盟

所在地等	〒073-0022 大町2丁目5-23（振興公社管理ビル1F） TEL：23-5225 FAX：23-5228		
設立経過	滝川市文化連盟は、平成3年7月8日に設立総会を開催し、それまで滝川市文化協会（昭和22年5月5日設立）と江部乙文化団体協議会（昭和28年6月4日設立）による滝川市文化団体連絡協議会を発展的に解散、滝川市文化連盟として新たに結成された。		
目 的	会員相互の資質の向上を図るとともに、市民の芸術文化の振興に役立つ事業を行い、ひいては郷土の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。		
組織体制 代表者	会 長 藤井 謙和 副 会 長 4名 理 事 長 1名（副会長兼務） 理 事 17名 監 事 2名	事 務 局（局長1名）副会長兼務 顧 問 5名 相 談 役 2名 参 与 5名	加盟団体 41団体 418名（令和6年3月31日現在）
推進目標	1. 加盟団体相互の連携と芸術文化事業の推進 2. 加盟団体が開催する事業への支援 3. 各種発表会、展覧会等主催事業の企画・実施 4. 芸術文化団体との文化交流事業の推進 5. 会員等の研修事業の実施 6. 各種芸術文化に関する調査 7. その他芸術文化事業に付帯する事業		
事業内容	1. 主催・共催事業 (1) 第52回滝川市民文化祭 ・書道・絵画・写真・美術刀剣・一般公募 10月26日～27日 美術自然史館 ・華道・文芸・手工芸 10月26日～27日 滝川市民交流プラザ ・茶道（呈茶） 10月26日 滝川市民交流プラザ ・芸能発表 10月27日 滝川市民交流プラザ (2) 文化連盟新年交礼会 令和7年1月25日 滝川ホテル三浦華園 (3) 第59回古典の会 令和7年3月未定 滝川市民交流プラザ 2. 交流事業 (1) 空知文化団体連絡協議会総会 4月20日 岩見沢市 (2) 第48回道民芸術祭兼第56回空知管内郷土芸術祭 舞台（芸能）部門 9月11日 砂川市 展示（文芸）部門 9月15日 砂川市 (3) 第47回全空知文化交流会 11月未定 岩見沢市 3. 顕彰事業 (1) 滝川市文化賞表彰式 11月3日 4. 刊行事業 (1) 滝川市文化連盟会報誌「滝文連」の発行 年2回 5. 支援・後援事業 (1) 加盟団体の各種発表会、展示会、記念事業・出版事業への支援後援 (2) 上記以外で、地域における芸術文化の振興に寄与すると認めた事業への協賛		



一般財団法人 滝川市スポーツ協会

所在地等	〒073－0005 二の坂町東3丁目2－1 TEL：23－4617 FAX：23－4351		
設立経過	大正9年に滝川体育会として発足し、昭和52年北海道教育委員会から財団法人として認可された。平成25年4月1日、一般財団法人に移行。令和2年4月1日に一般財団法人滝川市スポーツ協会に名称変更。		
目 的	滝川市におけるスポーツ団体を総括し、スポーツの普及振興のために必要な事業を行うとともに、その設置するスポーツ施設を適切に運営し、もって心身の健全な発達と本市におけるスポーツの普及振興に寄与することを目的とする。		
組織体制 代表者	会 長 佐藤 佳朗 常務理事 1名 理 事 6名 副会長 3名 監 事 3名 事務局（局長（常務理事業務）・次長1名・スタッフ21名） 加盟団体 32団体		
推進目標	1. 市民に対するスポーツの振興に関する方策を講ずるとともにアマチュア精神の普及を図り、市民の体力向上及びスポーツに関する情報提供を行うこと。 2. 公益財団法人北海道スポーツ協会と協調を図るとともに各加盟団体の強化発展と相互の融和に努め、滝川市及び北海道の施策に協力すること。 3. スポーツに関する講習会や各種教室を開催するとともに、他のスポーツ団体等の行うスポーツ事業に協力すること。 4. 全道・全国的規模のスポーツ大会に競技者及び役員を派遣すること。 5. スポーツ少年団の育成に関すること。 6. スポーツに関し功労のあった者を表彰すること。 7. スポーツ施設の維持、管理及び運営を行うこと。 8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業。		
事業内容	1. 市民スポーツの振興に関する方策を講ずる開催事業及びスポーツ大会を開催するとともに、他のスポーツ団体等の行うスポーツ事業に協力する。 (1) スポーツフェスティバルの開催 (2) マリンスポーツフェスティバル 7月15日 (3) クリーンフェスティバル 7月～8月中 (4) たきかわコスモスマラソン2024 9月8日 (5) ホームページ・フェイスブック掲載事業 2. 加盟団体の強化発展と相互の連絡融和を図り、加盟団体の助成を図る事業 (1) スポーツ交流会 10月18日 (2) 加盟団体助成事業 11月上旬 3. スポーツに関する講習会・教室の開催及び指導者養成事業 (1) 元気アップ教室 4月～3月 (2) 白樺幼稚園運動教室 4月～2月 (3) 出前講座 4月～3月 (4) ストレッチボール教室 4月～3月 (5) ストレッチーズ教室 4月～3月 (6) シニア元気体操教室 4月～3月 (7) 親子カヌー教室 8月3日 (8) カヌー教室 8月4日 (9) カヌー等の水上スポーツを楽しもう 9月20日 (10) 小学1年生スキー教室 1月8日～10日 (11) 小学生スケート教室 1月8日～10日 (12) スノーレク2025 1月25日 4. 全国・全道的スポーツ大会への参加奨励事業 (1) 全国大会に参加する団体・個人に対する奨励 通年 (2) 北海道B＆Gスポーツ交流交歓会「水上の部」選手派遣事業 8月11日 5. スポーツ少年団育成事業 11月9日 6. スポーツ功労者等の表彰事業 (1) 一般 10月18日 (2) 学校関係 3月8日 7. スポーツ施設の運営管理事業 (1) すぱーく滝川 通年 (2) スポーツセンター第1体育館 通年 (3) スポーツセンター第2体育館 通年 (4) B＆G海洋センター 5月11日～10月10日 (5) 滝の川公園 4月29日～10月31日 (6) 北電公園球場 4月29日～10月31日 (7) 池の前水上公園（B＆G海洋センターを除く）のうちカヌー等の利用に係る部分 4月29日～10月31日 (8) 石狩川球場 4月29日～10月31日 (9) サッカー場 4月29日～10月31日 (10) 北電スロープ 12月21日～2月11日 (11) 江部乙パークゴルフ場 4月29日～10月31日 (12) 滝川市テニスコート 4月29日～10月31日 (13) 施設を利用した協賛企業の広告掲載 通年 8. その他法人の目的を達成するために必要な事業 (1) 滝川スケートリンク造成・管理運営事業 12月25日～2月11日		

V 資料編

1

各種審議会等

滝川市いじめ防止専門委員会

【目的】 いじめの防止等のための対策の実効的な推進を図るため、以下の職務を行う。

- (1) 教育委員会の諮問に応じ、いじめの防止等のための対策の実効的な推進に関する重要事項を調査審議する。
- (2) いじめの防止等のための対策の実効的な推進の在り方に関し、教育委員会に意見を述べる。

会長	百々 尚美	定数	4人以内
設置年月日	平成26年4月1日	任期	令和6年6月1日～令和8年5月31日
関係法令等	滝川市子どものいじめの防止等に関する条例 滝川市いじめ防止専門委員会規則	所管課	教育総務課
氏名	氏名	氏名	氏名
百々 尚美	寺崎 真一郎	杉浦 善敬	岩岬 稔

滝川市いじめ問題対策連絡協議会

【目的】 滝川市子どものいじめの防止等に関する条例の規定に基づき、いじめの防止等に関係する機関など団体の連携を協議するとともに、啓発を効果的に進めるため協議する。

会長	田中 嘉樹	定数	8人以内
設置年月日	平成26年4月1日	任期	令和6年6月1日～令和8年5月31日
関係法令等	滝川市子どものいじめの防止等に関する条例 滝川市いじめ問題対策連絡協議会規則	所管課	教育総務課
氏名	氏名	氏名	氏名
鈴木 成光	菊池 太一	日比生 究	今野 栄司
山本 繁	原 修二	中川 浩之	景由 隆寛

滝川市教育支援委員会議

【目的】 心身に障がいのある児童生徒及び就学予定者の特別支援学校又は小学校若しくは中学校の特別支援学級等への就学に関し、必要な専門的意見を取りまとめ、その結果を教育委員会に報告する。

会長	濱本 有未代		副会長	日比生 究		定数	24人以内	
設置年月日	昭和53年11月24日		任期	令和6年5月1日～令和8年4月30日				
区分	1号－医師 2号－学識経験者 3号－教育機関の職員 4号－児童福祉施設の職員 5号－関係行政機関の職員							
関係法令等	滝川市教育支援委員会議規則			所管課	教育総務課			
氏名	区分	氏名	区分	氏名	区分	氏名	区分	
濱本 有未代	2号	日比生 究	2号	永井 和重	1号	村井 新知	4号	
運上 明子	5号	吉村 伸子	3号	西山 美幸	3号	光明 泰史	3号	
横井 美和	3号	田中 章子	3号	中村 奈津子	3号	會田 佳奈子	3号	
日野 光咲	3号	外崎 仁美	3号	沼田 佳子	3号	熊谷 さおり	3号	
金澤 麻奈美	3号	横林 広恵	3号	金子 智里	3号	西 美雪	3号	
瀬戸 一史	3号							

滝川市社会教育委員会議

【目的】 教育基本法に規定する社会教育の振興を図るために設置。社会教育に関し教育委員会に助言するため、以下の職務を行う。

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること
- (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること
- (3) 前2号の職務を行うために必要な調査研究を行うこと
- (4) 教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べること
- (5) 教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えること
- (6) 社会教育関係団体に対する補助金交付について意見を述べること

委員長	山木 傑		副委員長	村田 淳子		定数	10人以内
設置年月日	平成26年5月1日		任期	令和6年5月1日～令和8年4月30日			
関係法令等	滝川市社会教育委員設置条例 滝川市社会教育委員会議規則			所管課	社会教育課		
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
山木 傑	村田 淳子	井上 正恵	柴尾 智子				
柴田 直美	白神 祐貴	曾根 英司	田中 一徳				
珍田 恭江	坪江 潤						

滝川市文化財保護審議会

【目的】 滝川市の文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議するために設置。

会長	大竹 敏章	副会長	高石 啓一	定数	5人以内
設置年月日	昭和46年4月1日	任期	令和5年5月1日～令和7年4月30日		
関係法令等	滝川市文化財保護条例、滝川市文化財保護審議会規則			所管課	美術自然史館
氏名	氏名	氏名	氏名		
大竹 敏章	高石 啓一	平手 智子	森 悟朗		
高谷 富士雄					

滝川市スポーツ推進委員

【目的】 スポーツ基本法の規定に基づき、スポーツの振興のため、住民に対し、スポーツの実技の指導
その他スポーツに関する助言を行うために配置。職務については次のとおりである。

- (1) スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整を行うこと
- (2) 住民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行うこと
- (3) 住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図ること
- (4) 学校、公民館等の教育機関その他の行政機関の行うスポーツの行事又は事業に関し協力すること
- (5) スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業に関し求めに応じ協力すること
- (6) 住民一般に対し、スポーツについての理解を深めること
- (7) 前各号に掲げるもののほか、住民のスポーツの振興のための指導助言を行うこと

設置年月日	昭和37年5月1日	任期	令和5年4月1日～令和7年3月31日	定数	14人以内
関係法令等	スポーツ基本法、滝川市スポーツ推進委員に関する規則			所管課	社会教育課
氏名	氏名	氏名	氏名		
高桑 武行	前田 静枝	松本 留美子	佐藤 寿幸		
佐々木 正志	曾我部 亘	柏木 雅人	森 成幸		

2

教育関係団体等一覧

名 称	代 表 者	事務局所在所管課又は施設名
滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議	委員長 栗井 康裕	教育総務課 28-8042
滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議		教育総務課 28-8042
滝川市教育振興会	会長 中川 浩之	東小学校 28-1591
江陵中学校区学校運営協議会	会長 本間 章久	教育総務課 28-8042
明苑中学校区学校運営協議会	会長 狗巻 弘行	教育総務課 28-8042
開西中学校区学校運営協議会	会長 水口 典一	教育総務課 28-8042
滝川西高等学校関係者評価委員会	委員長 日々生 究	教育総務課 28-8042
滝川市PTA連合会	会長 原 修二	西小学校 23-6275
滝川市青少年育成会連絡協議会	会長 水口 典一	社会教育課 28-8046
滝川市青年交流プラザ振興会	会長 大滝 裕慈	社会教育課 28-8046
陶工房たきかわ	会長 倉持 初子	陶芸センター 22-3503
一般財団法人 滝川生涯学習振興会	理事長 米倉 慎一	中央児童センター 23-0294
滝川市文化連盟	会長 藤井 謙和	振興公社管理ビル 23-5225
特定非営利活動法人岩橋ふるさと北辰振興会	会長 早弓 弘行	美術自然史館 23-0502
たきかわ博物館くらぶ	会長 田中 三郎	美術自然史館 23-0502
滝川市郷土研究会	会長 高石 啓一	郷土館 23-0502
滝川SL愛好会	会長 遠藤 均	郷土館 23-0502
一般財団法人 滝川市スポーツ協会	会長 佐藤 佳朗	滝川市スポーツセンター 第1体育館 23-4617



芸術文化団体一覧

滝川市文化連盟事務局

【所在地】 振興公社管理ビル 1 F （大町 2 － 5 － 23） TEL：23－5225 FAX：23－5228

≪ 滝川市文化連盟加盟団体 ≫

令和6年6月15日現在

部 門	団 体 名	代 表 者
邦 楽	新都山流尺八 都栄会	田守 鹿山
	正派邦楽会 山口社中	山口 雅楽優
	正派邦楽 ひさの会	北 雅楽泰教
	長谷川社中	長谷川 雅楽雅
	国風音楽奨励会生田流小山社中	嶋田 秀翔
	長唄柏千会	柏 伊三千
民 謡	柴田三味線教室	柴田 真吾
	竜翔民謡太鼓会	沖 雅昭
詩 吟	桜雲流	田口 秀桜
	鶯窓流 滝鶯会	谷内 鶯園
	日本詩吟学院 岳風会 滝川吟詠会	齊藤 秀希
音 楽	滝川市婦人会音楽部	経塚 玲子
	滝川音楽協会	鷺尾 昌法
	滝川歌謡愛好会	吉田 茂男
	滝川歌謡クラブ	高坂 克俊
	滝川相撲甚句会	吉田 茂男
	滝川市民合唱団	進司 秀仁
	滝川歌謡連合会	齋藤 礼子
日 舞	藤間流真佐喜会	藤間 真佐喜
	東流寿々代会	東 寿々代
	吟剣詩舞 和翔流	前野 和子
	藤間流勘喜久哥会	藤間 勘喜久哥
	荻江流 紫寿の会	道川 早苗
洋 舞	Makoto ballet studio	小野 誠
	Yasuバレエスタジオ	斎藤 やす
太 鼓	滝川龍栄太鼓	及川 喜三
華 道	池坊滝川支部	泉 信子
	松月堂古流滝川支部	村田 淳子
	小原流 札幌支部 滝川支所	山下 惇子
	池坊光明流清美会 滝川支部	山本 祥永
	池坊清月派 空知支部	佐藤 晶青
茶 道	裏千家 上田社中	上田 宗輝
	宗偏流 滝川会	鈴木 加代子
	大和遠州流（茶道） 静月流（煎茶道）	小坂 芳月庵
美 術	全日本写真連盟滝川支部	細川 光義
	北海道写真協会滝川支部	渡辺 精郎
	滝川書道連盟	高島 正堂
文 学	滝川市川柳社	深田 義勝
	滝川文学懇話会短歌部門	大谷 征子
	滝川俳句会	児玉 佳恵
鑑 賞	滝川美術刀剣会	田村 勇
	滝川映画サークル	谷本 敏史
	滝川おやこ劇場	新堂 活子
	NPO法人 アートステージ空知	青木 勝美

4

スポーツ団体一覧

一般財団法人 滝川市スポーツ協会事務局

【所在地】滝川市スポーツセンター第1体育館（二の坂町東3-2-1） TEL：23-4617 FAX：23-4351

《一般財団法人 滝川市スポーツ協会加盟団体》

団 体 名	代 表 者
滝川軟式野球連盟	柴田 文男
滝川ソフトテニス連盟	藤井 謙和
滝川卓球連盟	田村 弘
滝川市バレーボール協会	荒木 文一
滝川バスケットボール連盟	馬場 正憲
滝川バドミントン協会	高山 訓正
滝川剣道連盟	西村 耕司
滝川柔道連盟	高野 清志
滝川陸上競技協会	安樂 良幸
滝川スキー協会	有田 賢治
滝川銃剣道連盟	北村 昌也
滝川クレ射撃協会	田村 勇
滝川弓道連盟	丹保 直喜
滝川市ソフトボール協会	水口 典一
滝川市スポーツ少年団本部	小野 保之
滝川朝野球連盟	山口 清悦
滝川水泳協会	成田 美和子
滝川テニス協会	縄手 康湖
滝川サッカー協会	猪股 旬雄
滝川アーチェリー協会	高橋 寛次
滝川ボウリング協会	嶋谷 一俊
滝川パークゴルフ協会	山崎 浅一
滝川ターゲット・パードゴルフ協会	坂下 薫
滝川ミニバレーボール協会	水口 典一
B & G 滝川海洋クラブ	猪股 浩徳
滝川硬式野球クラブ	藤井 謙和
滝川空手道連盟	佐藤 哲男
滝川コスモスパークゴルフ協会	大阪 史弘
滝川フットサル協会	渡邊 要
滝川クライミングクラブ	
滝川市民ゴルフ場サポーターズクラブ	米倉 慎一
滝川合気道協会	目黒 久雄



滝川市の文化財

(1) 北海道指定文化財

名 称	種 別	指 定 日
タキカワカイギュウ化石標本	天然記念物	昭和59年3月12日
滝川屯田兵文書（第二大隊第三中隊・第四中隊文書）	有形文化財	平成28年3月31日

(2) 滝川市指定文化財

指定番号	名 称	種 別	員 数	所有者
1	高畑利宜資料	有形文化財	1,340件	滝川市
3	華月館	有形文化財	1棟	滝川市
5	屯田兵屋	有形文化財	1棟	滝川市
6	牧羊用石造サイロ	有形文化財	1基	滝川市
8	北海道人造石油株式会社滝川工場 関係資料	有形文化財	194点	滝川市

※指定番号2、4、7については欠番

(3) 史跡

滝川市の史跡標柱：36ヶ所

健康都市宣言

わたしたち滝川市民にとって、心や体はもちろん、社会のすべてが健康であることは何よりも大切なことです。

わたしたち一人ひとは、滝川市民憲章のもとに、まち全体の健康をより積極的により創造的に増進させ、まちの未来を切り拓いていかなければなりません。

平成の幕開けにあたり、大空にはばたく滝川2世紀の明るいまちづくりをめざし、熱い決意をこめて「健康都市」を宣言します。

（平成元年4月1日）

環境都市宣言

わたしたちのまち滝川は、石狩川と空知川に育まれた豊かな大地と自然の恵みを受けて、健康で文化的なまちとして発展してきました。

しかし、今、人々の営みは、豊かな自然や調和のとれた地球環境に大きな影響を与えています。

21世紀を迎え、わたしたちは、地球の優れた環境を再生し、美しい地球を未来に引き継ぐため、環境にやさしいまちづくりに努めることを誓います。

（平成15年1月1日）

平和都市宣言

世界がいつまでも平和で、みんなが安心して暮らせることは、人類の共通した願いです。

しかし、世界各地では戦争やテロリズム等によって、多くの尊い人命が奪われるなど争いが絶えません。

私たちは、わが国が世界で唯一の被爆国として、戦争のつらく悲しい記憶をいつまでも忘れずに、多くの人々と手を取り合い、核兵器と争いのない世界の実現を強く望みます。

そのために、滝川市がこれまで深めてきた国際交流の輪をさらに広げて、世界中の人々と互いの個性を理解し尊重していきます。

先人が残してくれた美しい自然、文化、伝統をこれからも大切に守り、平和な未来を子どもたちにしっかりと引き継いでいくことを誓い、ここに「平和都市」を宣言します。

（平成28年4月1日）

令和6年度 滝川市の教育

発行・編集 滝川市教育委員会

〒073-8686 滝川市大町1丁目2番15号

TEL:0125-28-8042 FAX:0125-24-1024

【HP アドレス】<https://www.city.takikawa.hokkaido.jp/260kyouiku/index.html>

【E-mail】shien@city.takikawa.lg.jp

発行日 令和6年8月30日
